

とよたの 交通事故

平成30年版



トヨタ自動車ヴェルブリッツ（ラグビー選手）との立哨活動（平成30年7月11日）



交通事故抑止決起集会（足助警察署管内）（平成30年5月2日）



豊田市交通安全市民会議

2019年交通安全市民運動期間

- ☆ 春の交通安全市民運動
5月11日(土)～ 5月20日(月)
市内一斉街頭活動の日 5月13日(月)
- ☆ 夏の交通安全市民運動
7月11日(木)～ 7月20日(土)
市内一斉街頭活動の日 7月11日(木)
- ☆ 秋の交通安全市民運動
9月21日(土)～ 9月30日(月)
市内一斉街頭活動の日 9月24日(火)
- ☆ 年末の交通安全市民運動
12月 1日(日)～ 12月10日(火)
市内一斉街頭活動の日 12月 2日(月)
- ☆ 交通事故死ゼロの日
毎月10日、20日、30日

凡 例 (用語説明)

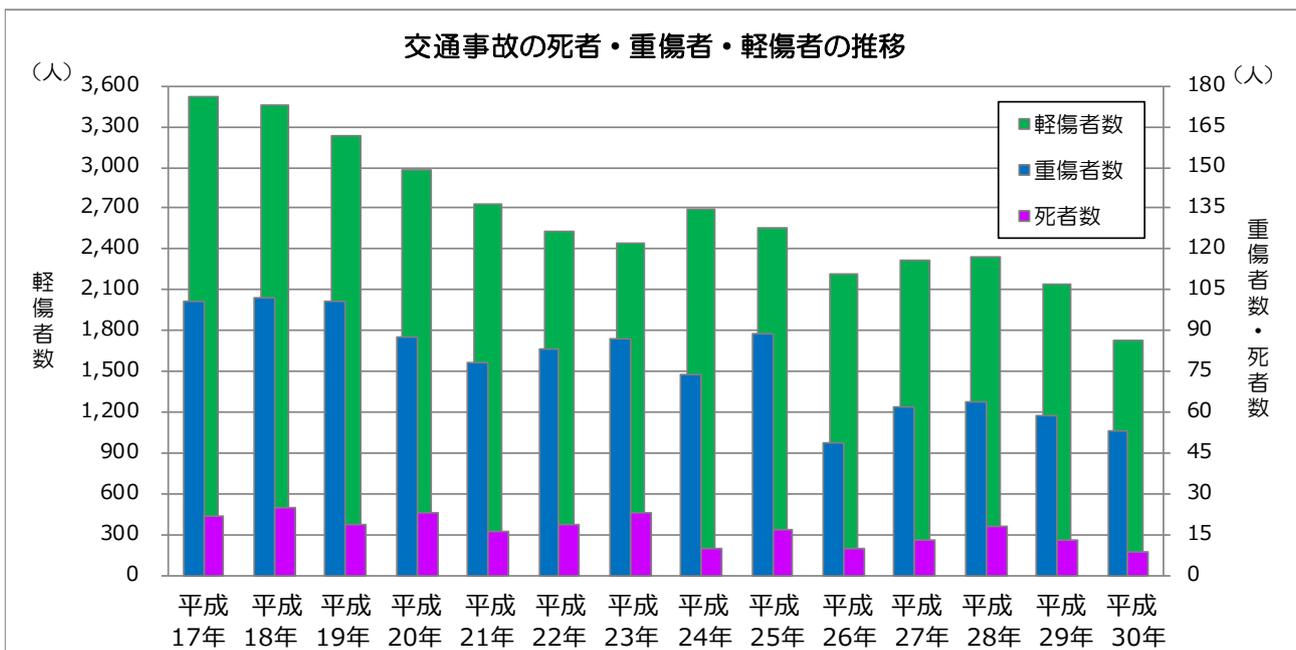
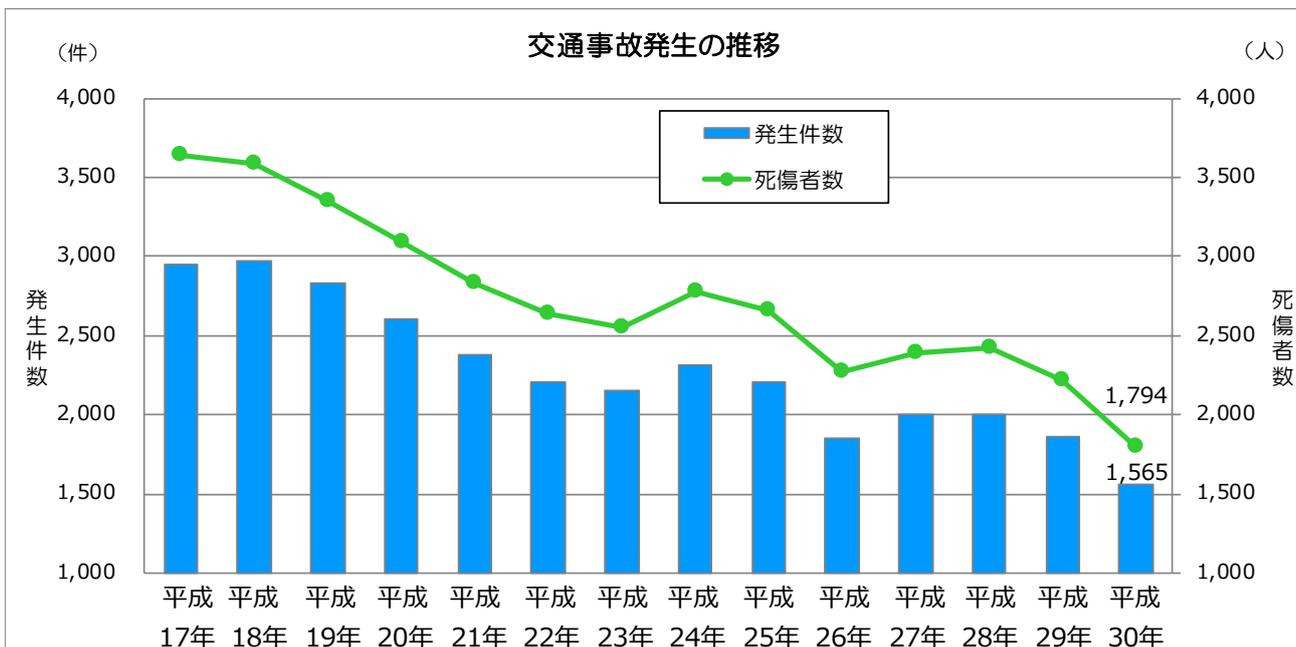
- 事 故・・・交通事故により死傷があった人身事故をいう。
- 死 亡・・・交通事故の発生から24時間以内に死亡したものをいう。
- 重 傷・・・交通事故によって負傷し、30日以上の治療を要するものをいう。
- 軽 傷・・・交通事故によって負傷し、30日未満の治療を要するものをいう。
- 第一当事者・・・交通事故の当事者間で過失がより重い者をいい、過失が同程度の場合は、被害がより小さい者をいう。
- 第二当事者・・・交通事故の当事者間で過失がより軽い者をいい、過失が同程度の場合は、被害がより大きい者をいう。
- 同 乗 者・・・車両等及び列車に同乗し、死傷した者をいう。
- 大 交 差 点・・・交差する道路幅員がそれぞれ13メートル以上ある交差点をいう。
- 中 交 差 点・・・交差道路の狭い方の道路幅員が5.5メートル以上13メートル未満である交差点をいう。
- 小 交 差 点・・・交差道路の狭い方の道路幅員が5.5メートル未満である交差点をいう。
- 交差点付近・・・交差点の側端から30メートル以内の部分をいう。
- こ ど も・・・年齢が15歳以下の者をいう。
- 若 者・・・年齢が16歳以上24歳以下の者をいう。
- 一 般・・・年齢が25歳以上64歳以下の者をいう。
- 高 齢 者・・・年齢が65歳以上の者をいう。
- 朝・・・午前6時台から午前8時台までの時間をいう。
- 昼 前・・・午前9時台から午前11時台までの時間をいう。
- 昼 過 ぎ・・・午後0時台から午後3時台までの時間をいう。
- 夕 方・・・午後4時台から午後5時台までの時間をいう。
- 前 夜・・・午後6時台から午後9時台までの時間をいう。
- 中 夜・・・午後10時台から午後11時台までの時間をいう。
- 深 夜・・・午前0時台から午前3時台までの時間をいう。
- 早 朝・・・午前4時台から午前5時台までの時間をいう。

目 次

1 豊田市の交通事故発生の推移	1
2 豊田市の交通事故発生概要	
(1)平成30年中の交通事故発生状況	2
(2)月別発生状況	3
(3)当事者別発生状況	4
(4)時間帯別発生状況	5
(5)年齢別発生状況	6
(6)車道幅員別発生状況	7
(7)道路形状別発生状況	8
(8)事故類型別発生状況	9
(9)交通事故多発信号交差点（平成25年～平成29年：件数）	11
(10)交通事故多発信号交差点詳細	12
(11)交通事故死者数ワースト記録の推移	18
(12)交通関係指標の推移	18
3 愛知県内各市の交通事故発生状況	19
4 豊田市の平成30年の死亡事故	
(1)死亡事故位置図	20
(2)死亡事故一覧表（9件、9人）	21
5 豊田市の小学校区別交通事故	
(1)発生状況分布図	24
(2)発生状況一覧表	25
6 豊田市の自転車交通事故	
(1)年齢別発生状況	27
(2)時間帯別発生状況	28
(3)道路形状別発生状況	28
7 豊田市の高齢者（65歳以上）の交通事故	
(1)発生状況の推移	29
(2)時間帯別発生状況	30
(3)交通手段別発生状況	30

※本統計において構成率、指数に用いる数字の端数は四捨五入している。
したがって、構成率の合計の数字と内訳の合計が一致しない場合がある。
※一部のデータは速報のものを用いているため、前後間で合致しないことがある。
※事故データは、愛知県警察本部と豊田・足助警察署からの提供資料に基づく。
そのため、高速道路での事故は含まない。

1 豊田市の交通事故発生の推移



区分\年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
発生件数	2,956	2,977	2,832	2,603	2,385	2,205	2,156	2,311	2,202	1,857	2,000	2,006	1,866	1,565
指数	100	101	96	88	81	75	73	78	74	63	68	68	63	53
死傷者数	3,645	3,590	3,350	3,091	2,829	2,638	2,551	2,779	2,659	2,275	2,392	2,420	2,219	1,794
死者数	22	25	19	23	16	19	23	10	17	10	13	18	13	9
重傷者数	101	102	101	88	78	83	87	74	89	49	62	64	59	53
軽傷者数	3,522	3,463	3,230	2,980	2,735	2,536	2,441	2,695	2,553	2,216	2,317	2,338	2,147	1,732

※指数は平成17年を100とする。

2 豊田市の交通事故発生概要

(1) 平成30年の交通事故発生状況

平成30年に発生した交通事故は、人身事故件数が 1,565 件、死者数が 9 人、負傷者数が 1,785 人であった。

これを前年と比較すると、人身事故件数では 301 件（16.1%）、死者数では 4 人（30.8%）、負傷者数では 421 人（19.1%）減少した。

① 1日平均の交通事故発生数

人身事故件数……………4.3 件
 死者数…………… 0.02 件
 負傷者数……………4.9 件

② 時間的発生間隔

人身事故件数…………… 5時間35分51秒
 死者数…………… 973時間20分 0秒（40日13時間20分 0秒）
 負傷者数…………… 4時間54分27秒

事故区分	平成 30年	平成 29年	前年対比		
			増減数	増減率(%)	
人身事故件数	1,565	1,866	△301	△16.1	
死者数	9	13	△4	△30.8	
負傷者数	計	1,785	2,206	△421	△19.1
	重傷者	53	59	△6	△10.2
	軽傷者	1,732	2,147	△415	△19.3

人口10万人当たりの死者数比較表

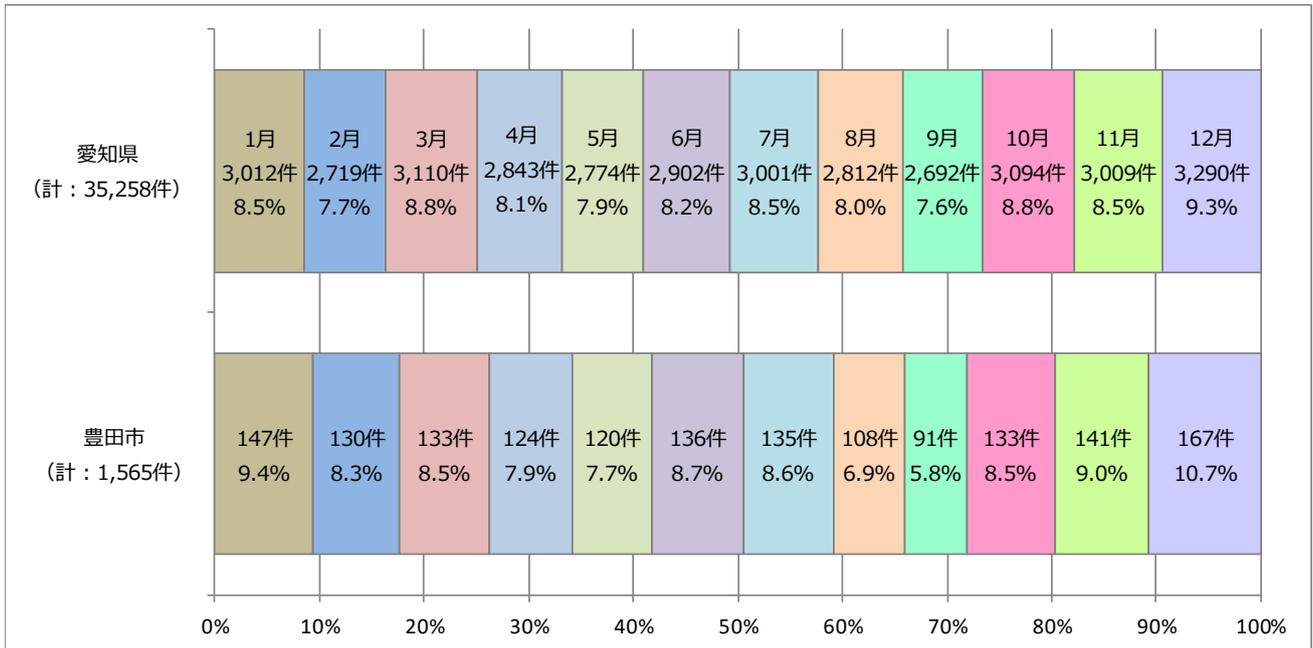
地域 年	全国		愛知県		豊田市	
	死者 (人)	人口10万人当たり の死者数(人)	死者 (人)	人口10万人当たり の死者数(人)	死者 (人)	人口10万人当たり の死者数(人)
平成26年	4,113	3.2	204	2.7	10	2.4
平成27年	4,117	3.2	213	2.9	13	3.1
平成28年	3,904	3.1	212	2.8	18	4.2
平成29年	3,694	2.9	200	2.7	13	3.1
平成30年	3,532	2.8	189	2.5	9	2.1

平成30年の豊田市の人口10万人当たりの死者数は、全国・愛知県より少なくなった。

(2) 月別発生状況

① 月別件数

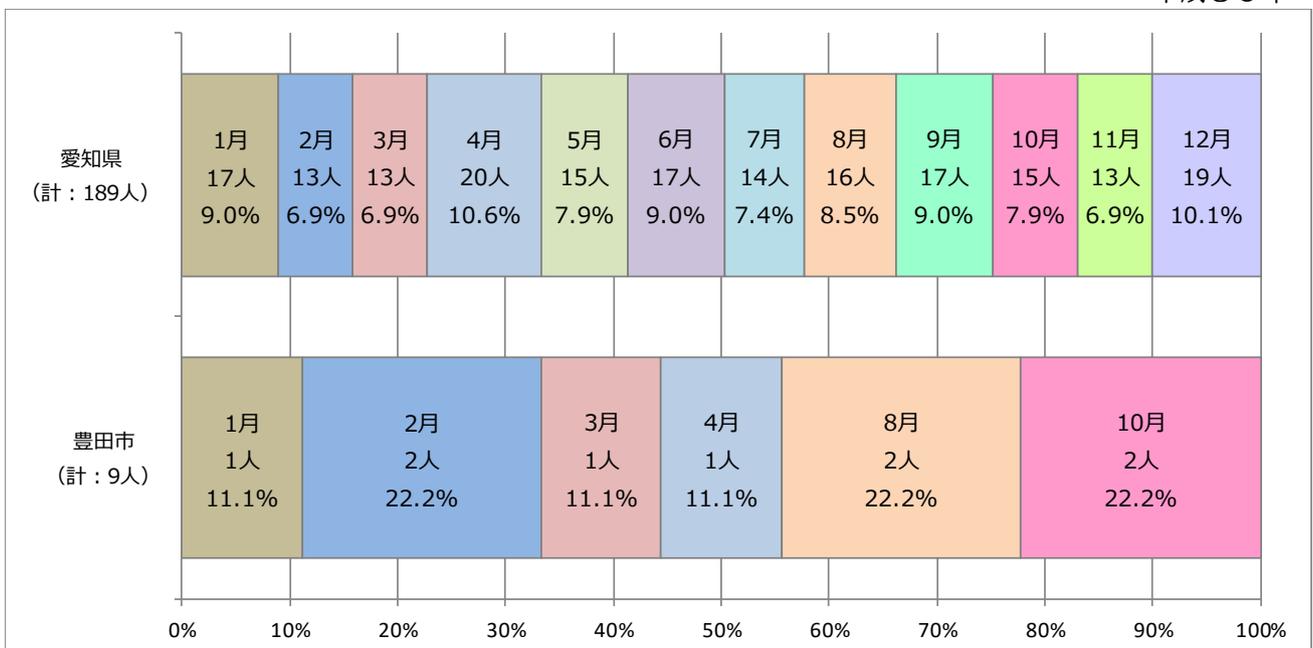
平成30年



愛知県は3月、10月、12月に事故が多く、豊田市は1月、11月、12月に事故が多い。

② 月別死者数

平成30年

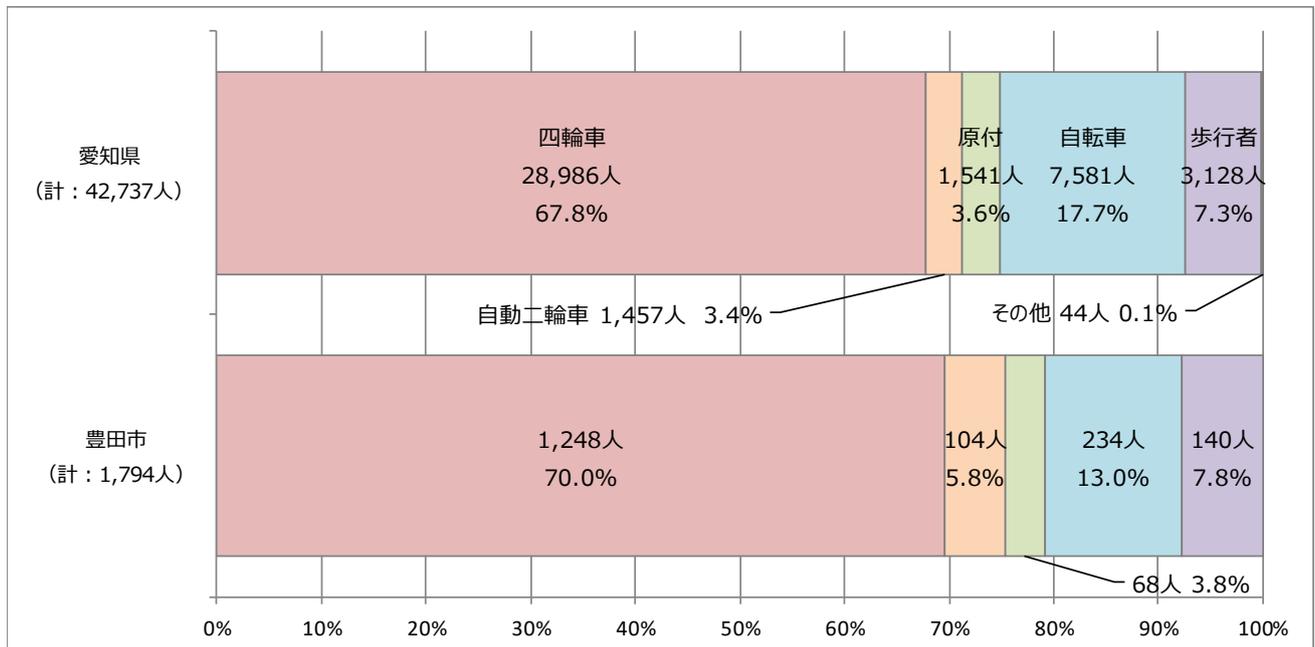


豊田市は5月、6月、7月、9月、11月、12月が交通事故死者数ゼロである。

(3) 当事者別発生状況

① 当事者別死傷者数

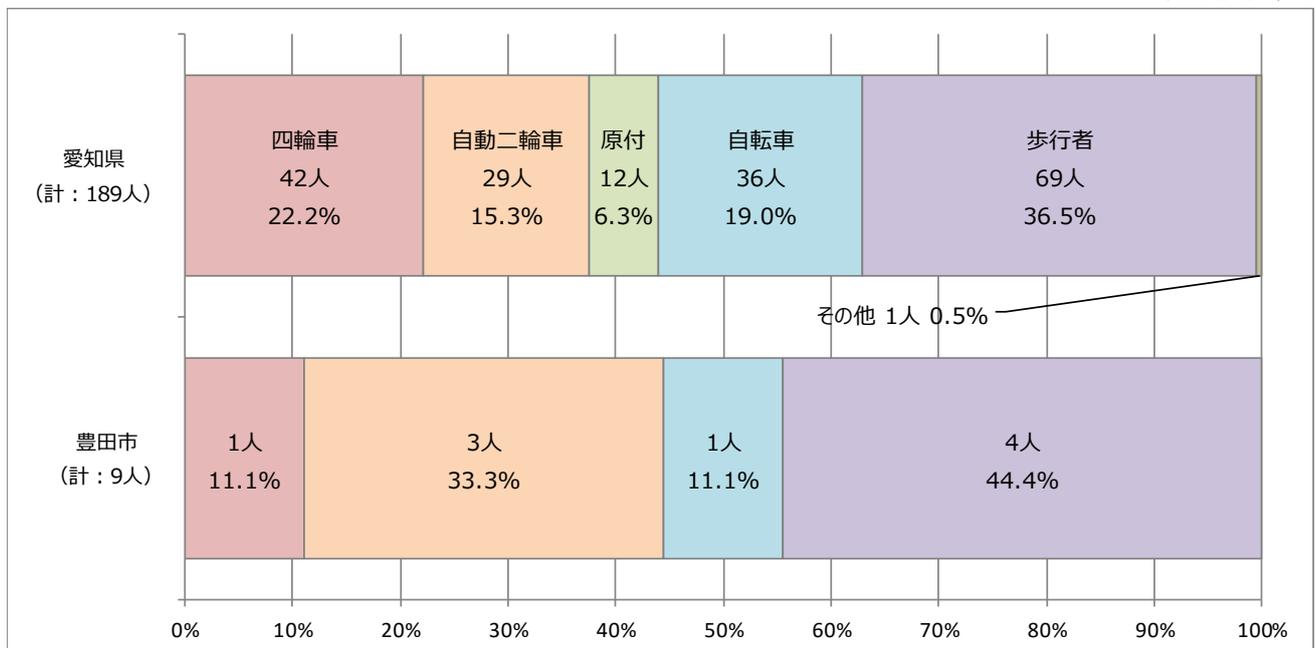
平成30年



愛知県・豊田市の死傷者数は、ともに四輪車が最も多く、次いで自転車が多い。
豊田市の死傷者数は、愛知県と比較して自動二輪車の割合が高く、自転車の割合が低い。

② 当事者別死者数

平成30年

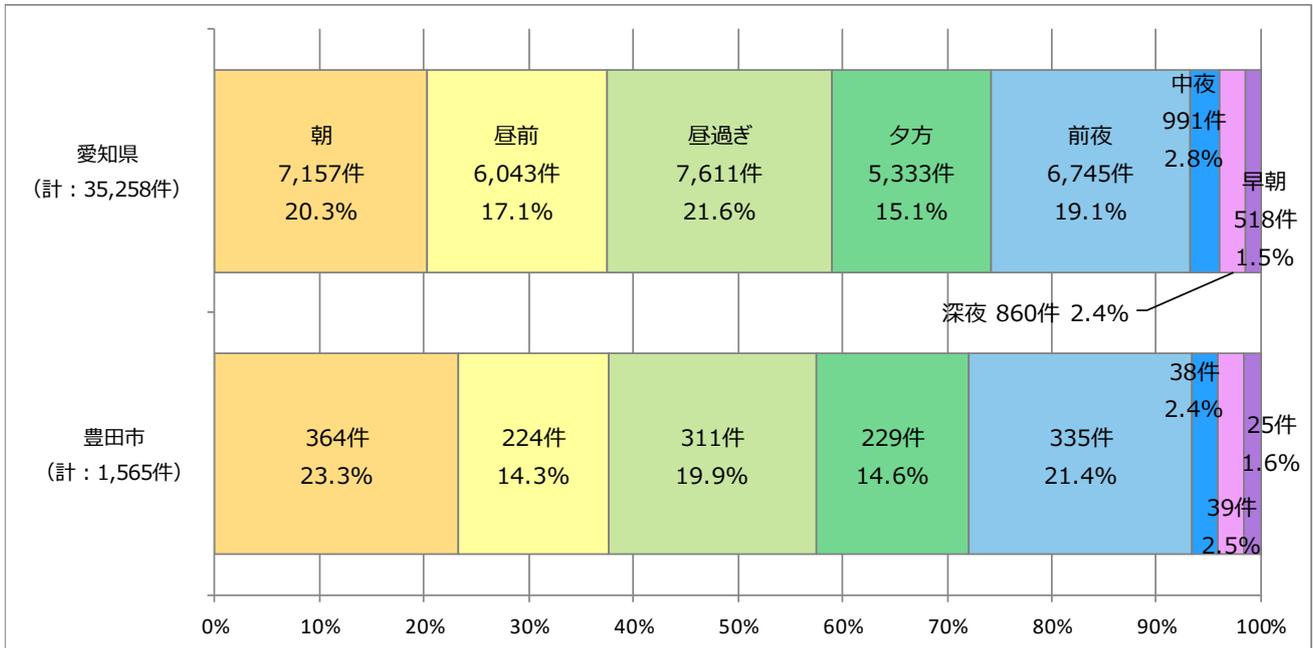


愛知県・豊田市の死者数は、ともに歩行者が最も多い。
豊田市の死者数は、愛知県と比較して自動二輪車・歩行者の割合が高い。

(4) 時間帯別発生状況

① 時間帯別件数

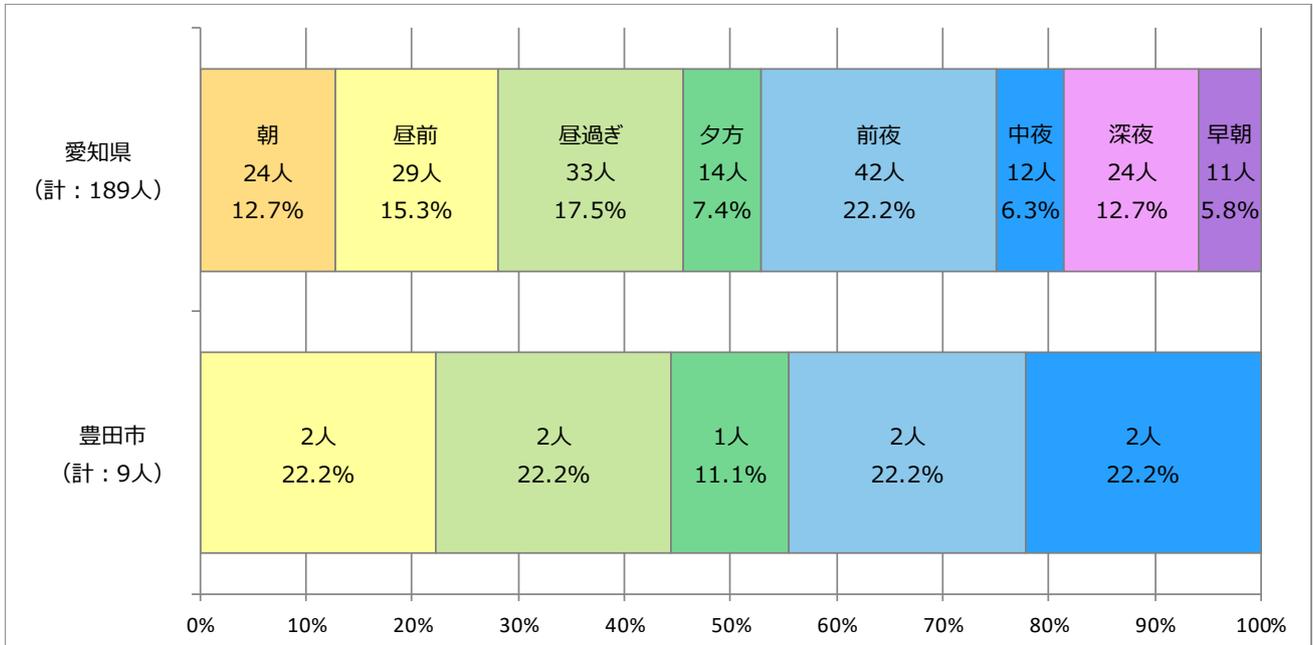
平成30年



愛知県・豊田市ともに朝、昼過ぎ、前夜に事故が多い。

② 時間帯別死者数

平成30年



愛知県の時間帯別死者数は前夜が最も多く、豊田市の時間帯別死者数はばらついている。

※時間帯は、朝（午前6時台～午前8時台）、昼前（午前9時台～午前11時台）、昼過ぎ（午後0時台～午後3時台）、夕方（午後4時台～午後5時台）、前夜（午後6時台～午後9時台）、中夜（午後10時台～午後11時台）、深夜（午前0時台～午前3時台）、早朝（午前4時台～午前5時台）を示す。

(5) 年齢別発生状況

① 年齢別死傷者数

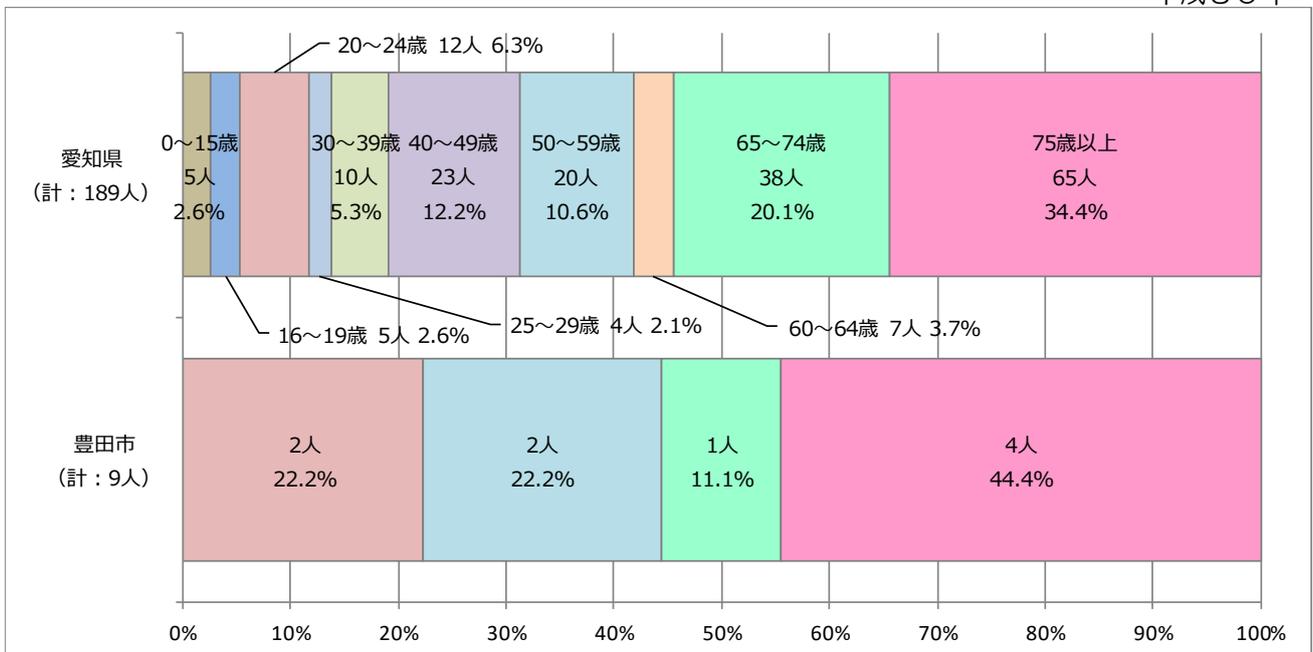
平成30年



愛知県・豊田市の死傷者数はともに20歳代、30歳代、40歳代が多い

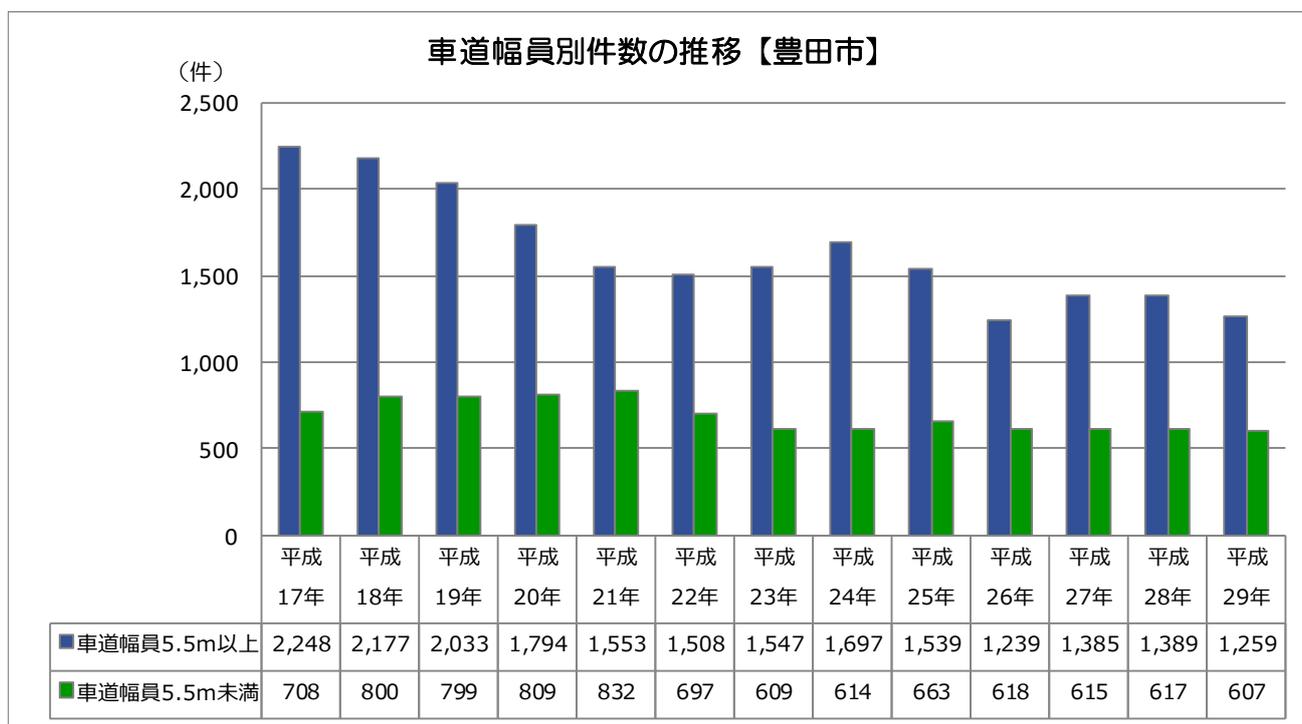
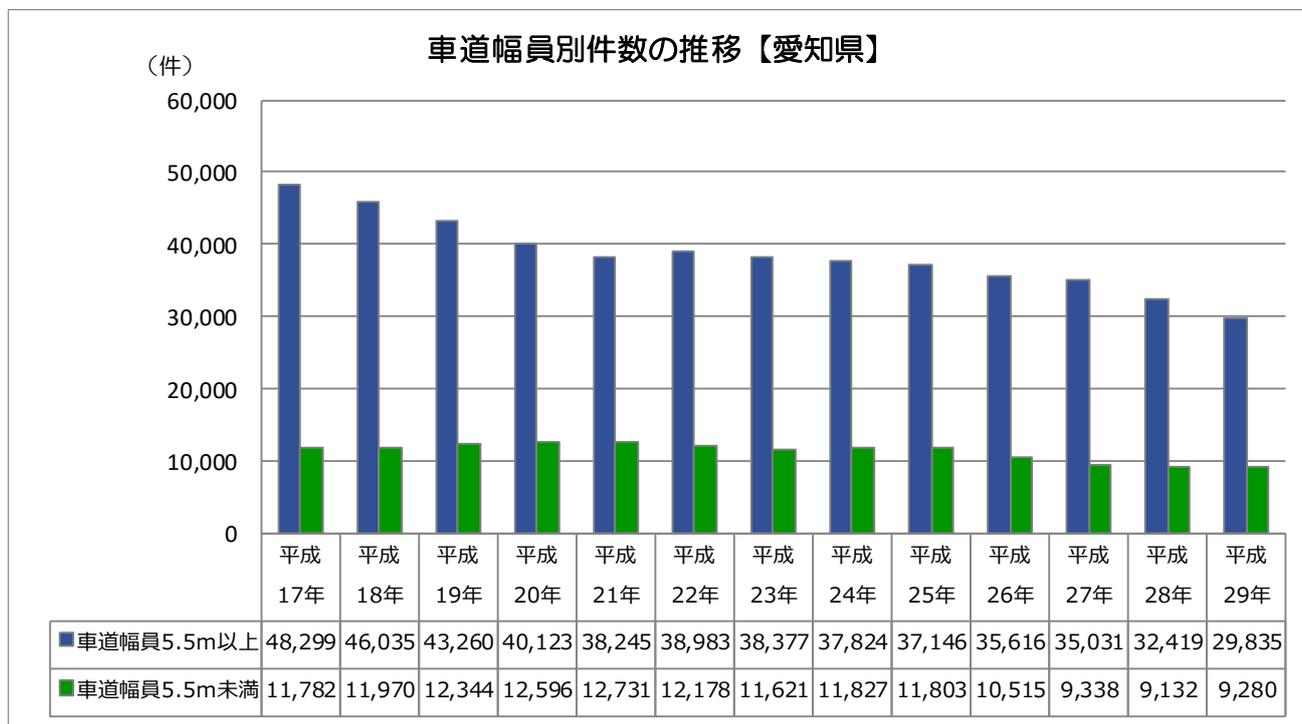
② 年齢別死者数

平成30年



愛知県・豊田市の死者数はともに65歳以上の高齢者が多い。

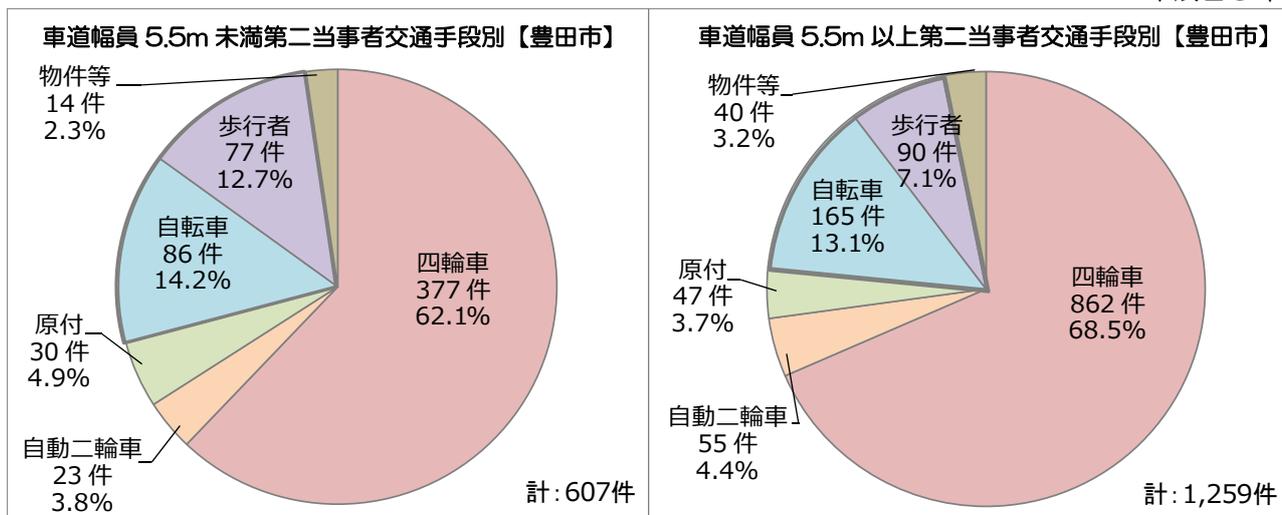
(6) 車道幅員別発生状況



平成 17 年から平成 29 年までの 13 年間で、幅員 5.5m 以上の道路における事故件数は愛知県では 38%減、豊田市では 44%減と大幅に減少している。しかし、幅員 5.5m 未満の道路における事故件数は減少割合が小さく、愛知県では 21%減、豊田市では 14%減にとどまっている。

※愛知県の平成 17～23 年は平成 24 年に行われた事故件数見直し前の値であるが、僅かであり全体の傾向に影響はない。

※5.5m 未満の道路の集計値には「その他（広場等）」の発生件数も含まれている。



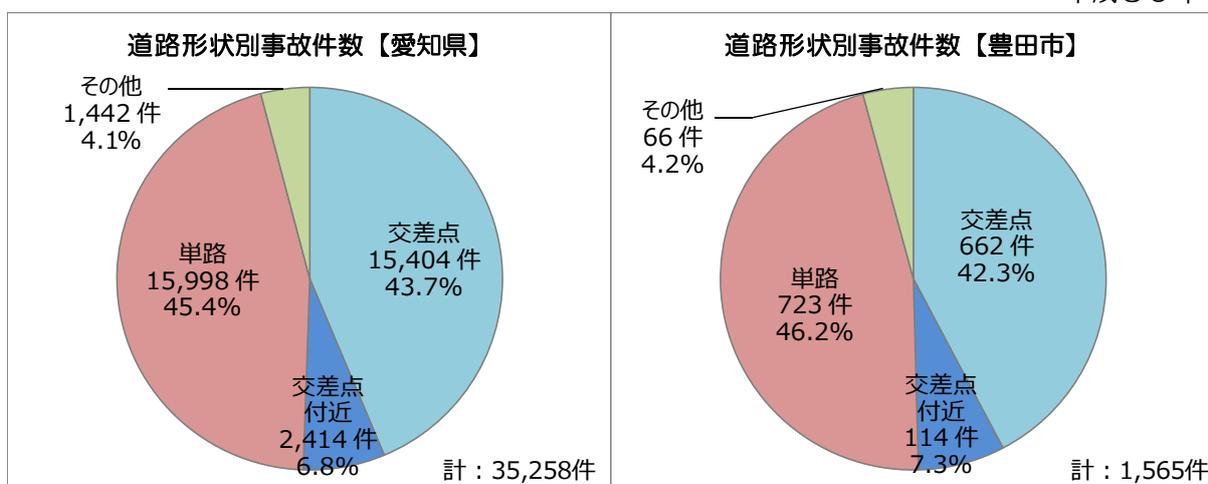
自転車や歩行者が第二当事者になる割合は車道幅員 5.5m 未満で高い。



豊田市では幅員5.5m未満の生活道路における歩行者等の安全な通行を確保することを目的として、区域（ゾーン）を定めて時速30キロの速度規制を実施するとともに、その他の安全対策を必要に応じて組み合わせ、ゾーン内における速度抑制や、ゾーン内を抜け道として通行する行為の抑制等を図る生活道路対策「ゾーン30」を進めている。

※生活道路・・・主として地域住民の日常生活に利用される道路で、自動車の通行よりも歩行者・自転車の安全確保が優先されるべき道路。

(7) 道路形状別発生状況

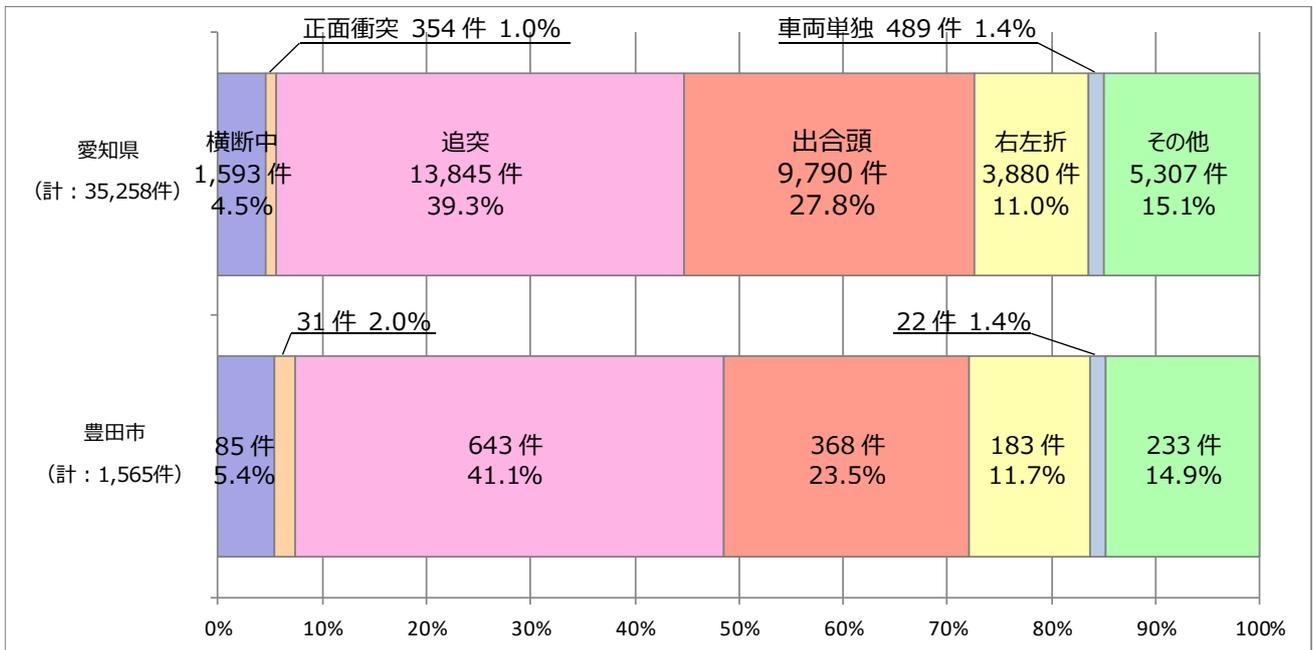


愛知県・豊田市ともに交差点、単路での事故が多い。

(8) 事故類型別発生状況

① 事故類型別件数

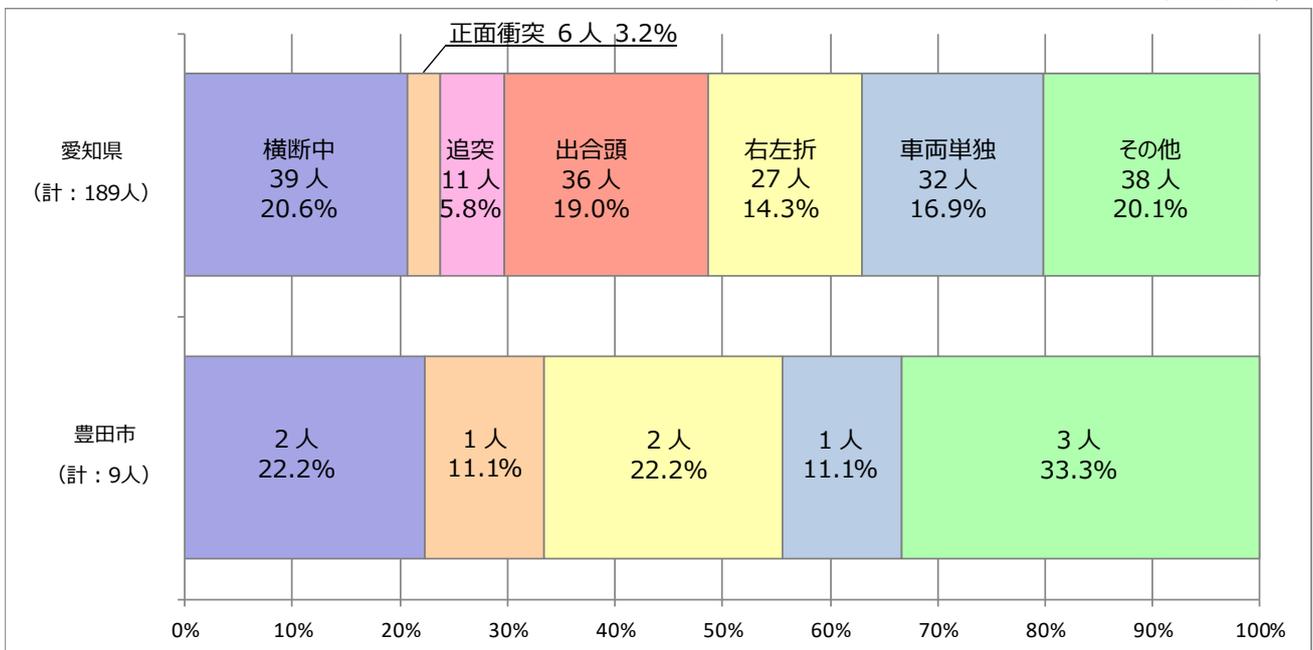
平成30年



愛知県・豊田市ともに追突、出合頭事故が多い。

② 事故類型別死者数

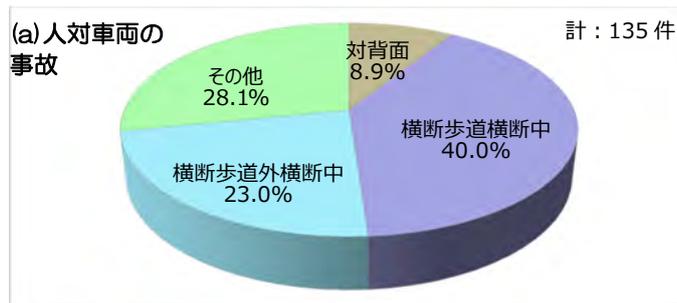
平成30年



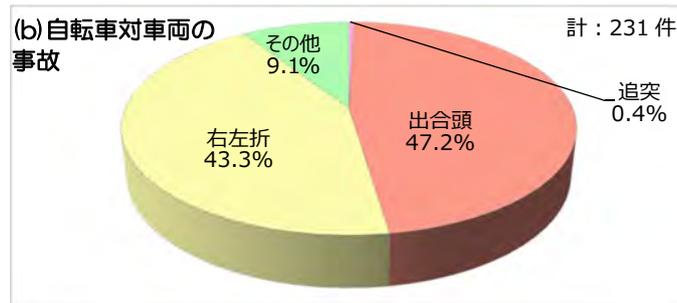
愛知県の死者数は横断中、出合頭が多く、豊田市の死者数は横断中、右左折が多い。

③ 豊田市の事故類型別発生状況詳細

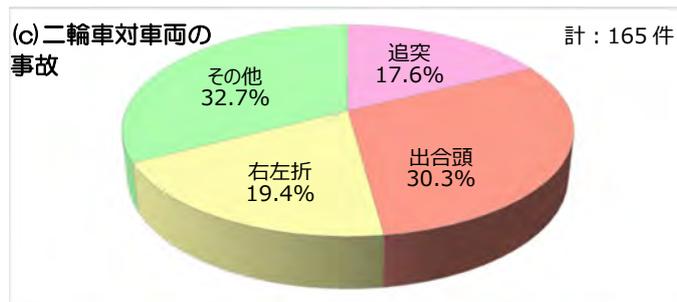
		人身事故件数		
		内) 死亡事故件数		
(a) 人対車両	対背面	12	0	
	横断歩道横断中	54	2	
	横断歩道外横断中	31	0	
	その他	38	2	
(b) 自転車対車両	追突	1	0	
	出合頭	109	0	
	右左折	100	1	
	その他	21	0	
(c) 二輪車対車両	追突	29	0	
	出合頭	50	0	
	右左折	32	1	
	その他	54	1	
(d) 自動車相互	正面	31	1	
	追突	613	0	
	出合頭	209	0	
	右左折	51	0	
	その他	108	0	
車両単独	(e) 四輪車	工作物	9	0
		逸脱	1	0
		駐車車両	0	0
		その他	4	0
	(f) 二輪車	工作物	3	1
		逸脱	0	0
		駐車車両	0	0
		その他	5	0
踏切		0	0	



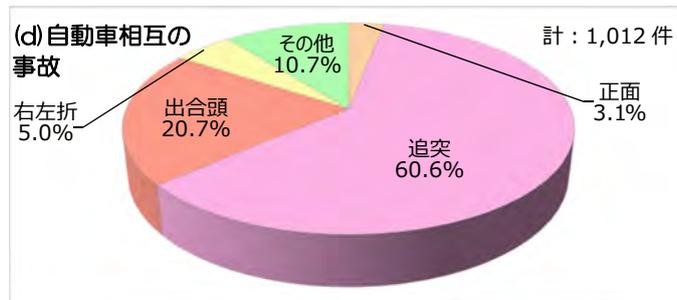
横断歩道を含め横断中の事故が多い。



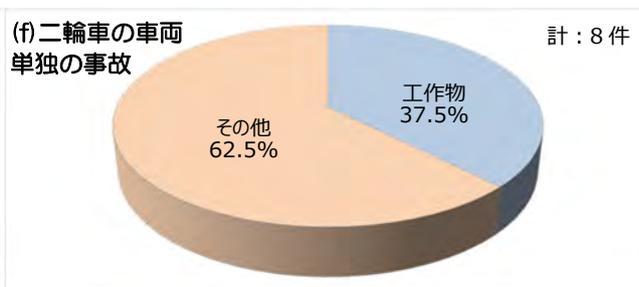
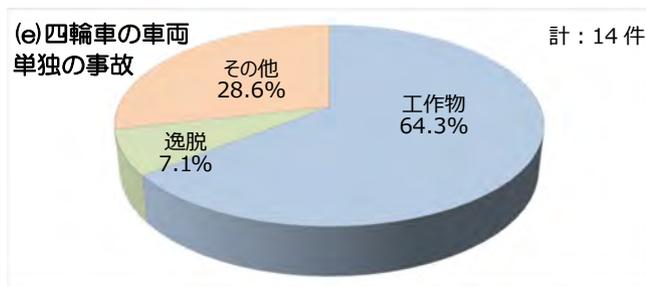
出合頭の事故が多い。



出合頭、右左折の事故が多い。



追突の事故が多い。



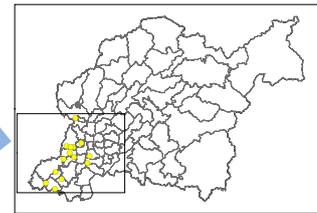
工作物による事故が多い。

豊田市は自動車相互の追突、出合頭事故、次いで自転車対車両の出合頭事故が多い。

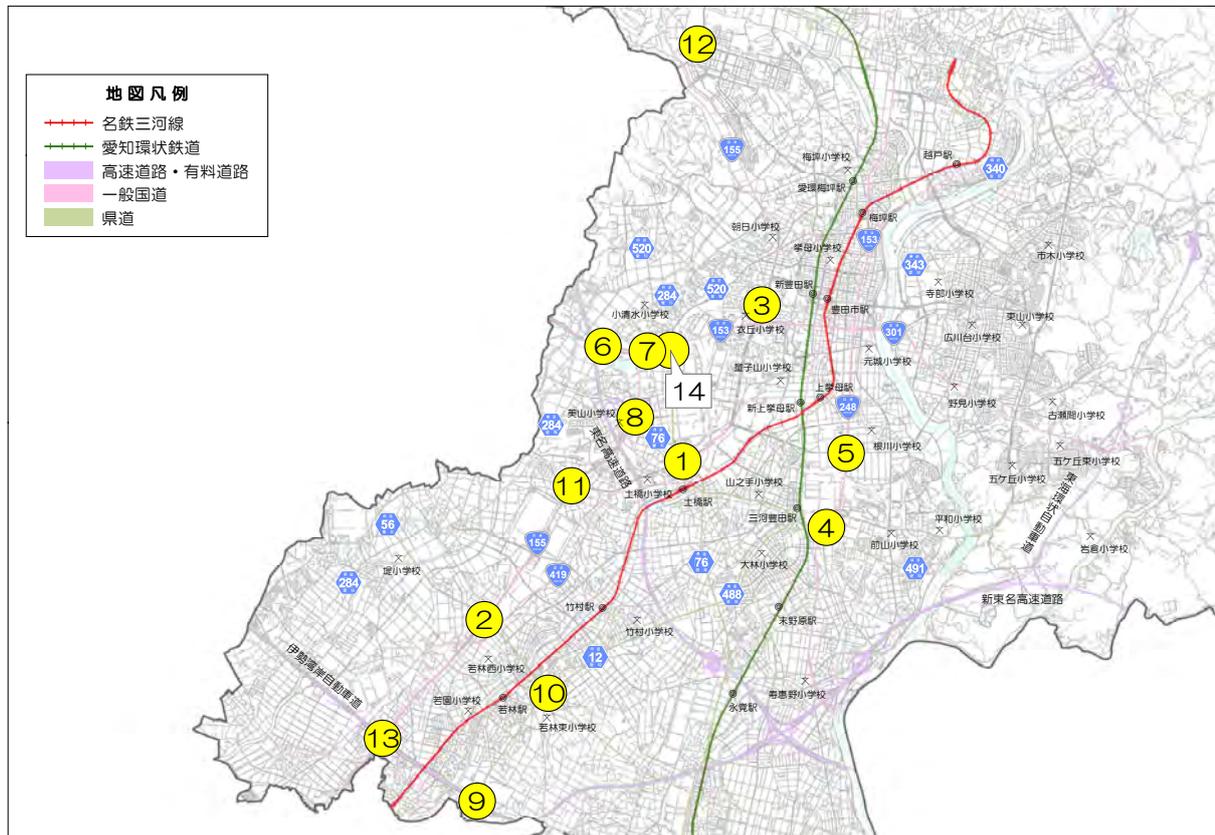
(9) 交通事故多発信号交差点

(平成25年～平成29年：件数)

過去5年間の総計では、「土橋町1丁目」交差点および国道153号・155号沿いが多い。



拡大図



● 内数字は、交通事故多発信号交差点（下表）の番号と対応。

番号	信号交差点名	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	総計	順位
①	土橋町1丁目	6	8	9	5	10	38	1
②	西三河車検場北	3	4	3	4	8	22	2
③	小坂町7丁目	6	2	4	2	2	16	3
④	トヨタ町南	2	2	4	4	3	15	4
⑤	下市場町5丁目	5	3	2	2	2	14	5
⑥	本新町5丁目	6	1	1	2	4	14	5
⑦	東新町5丁目	5	5	1	0	1	12	7
⑧	豊田インター東	0	5	3	2	1	11	8
⑨	吉原町西藤池	2	1	4	1	2	10	9
⑩	若林東町棚田	2	1	3	2	2	10	9
⑪	上丘町廻間	6	1	0	2	1	10	9
⑫	浄水町伊保原北	3	2	0	1	4	10	9
⑬	生駒町東山	2	2	0	3	3	10	9
⑭	東新町2丁目	3	3	1	0	3	10	9

※事故件数は、愛知県警察本部提供データを用いて集計。

※順位は、信号交差点での平成25年～平成29年の事故件数が多い順を示す。

(10) 交通事故多発信号交差点詳細

① 土橋町1丁目



©2019google,ZENRIN

特徴

- 東西片側2車線・南北片側3車線（右折車線あり）の大きな交差点である。
- 北から南へ下り坂になっている。
- 右折時事故が18件で最も多く、続いて追突事故が12件と多い。

注意ポイント

- 豊田市内で交通事故が最も多く発生している交差点です。カラー舗装されていますが、前方の安全をよく確かめましょう。
- 信号を守って余裕をもって走行しましょう。

② 西三河車検場北



©2019google,ZENRIN

特徴

- 東西（平針街道）、南北（国道155号）ともに片側2車線（右折車線あり）の大きな交差点である。
- 右折時事故9件と追突事故8件が多い。

注意ポイント

- 右折時は対向車をよく確かめてから進みましょう。
- 横断歩道の自転車や歩行者をよく確かめましょう。
- 進路前方の安全をよく確かめましょう。

③ 小坂町7丁目



©2019google,ZENRIN

特徴

- 東西片側1車線（右折車線あり）、南北2車線（右折車線あり）で構成された交差点である。
- 右折時事故が6件で最も多い。

注意ポイント

- 進路前方の安全をよく確かめましょう。
- 右折時は対向車をよく確かめてから進みましょう。
- 横断歩道の自転車や歩行者をよく確かめましょう。

④ トヨタ町南



©2019google,ZENRIN

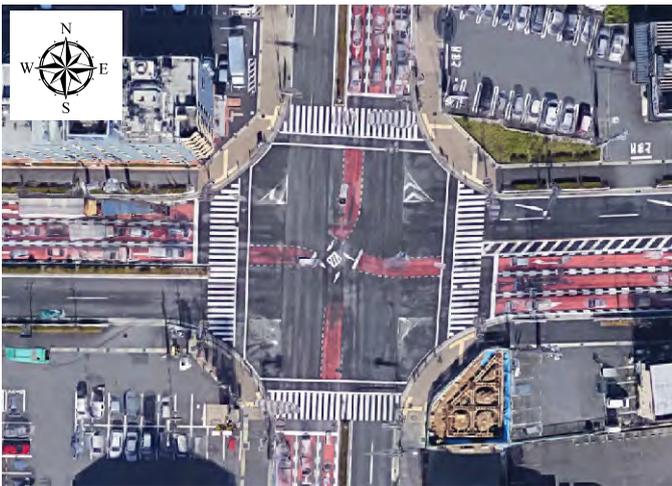
特徴

- 東西、南北（国道 248 号）ともに片側 2 車線（右折車線あり）の大きな交差点である。
- 歩行者・自転車が 8 件被害に遭っており、うち自転車 4 件は自動車左折時の事故である。

注意ポイント

- 左折する際はサイドミラーでは確認できない死角があるので必ず目視しましょう。
- ドライバーは自転車や歩行者がいるかもしれない運転に心がけましょう。
- 歩行者や自転車はドライバーが気づいているか、アイコンタクトで確認しましょう。

⑤ 下市場町 5 丁目



©2019google,ZENRIN

特徴

- 東西（内環状線）、南北（国道 248 号）ともに片側 2 車線（右折車線あり）の大きな交差点である。
- 追突事故が 6 件で最も多い。
- 左折時事故が 3 件で次に多く、3 件とも自転車が被害に遭っている。

注意ポイント

- 進路前方の安全をよく確かめましょう。
- 左折する際はサイドミラーでは確認できない死角があるので必ず目視しましょう。
- ドライバーは自転車や歩行者がいるかもしれない運転に心がけましょう。

⑥ 本新町 5 丁目



©2019google,ZENRIN

特徴

- 東西（国道 153 号豊田西バイパス）片側 2 車線（右折車線あり）と南北片側 1 車線で構成された交差点である。
- 東から西へ下り坂になっている。
- 追突事故が 7 件で最も多い。

注意ポイント

- 進路前方の安全をよく確かめましょう。
- 急停止にならないように、適正な車間距離を保ちましょう。

⑦ 東新町5丁目



©2019google,ZENRIN

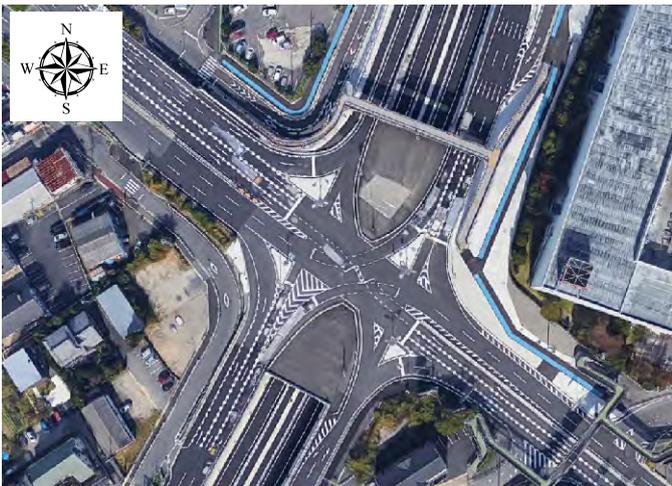
特徴

- 東西（国道 153 号豊田西バイパス）の高架下にあり、東西方向の車線が豊田西バイパスをはさんで南北に分かれている複雑な交差点である。
- 右折時事故が 7 件で最も多い。

注意ポイント

- 前方を確認しにくい複雑な交差点です。信号の変わり際に見切り発車をしないように慎重に運転しましょう。

⑧ 豊田インター東



©2019google,ZENRIN

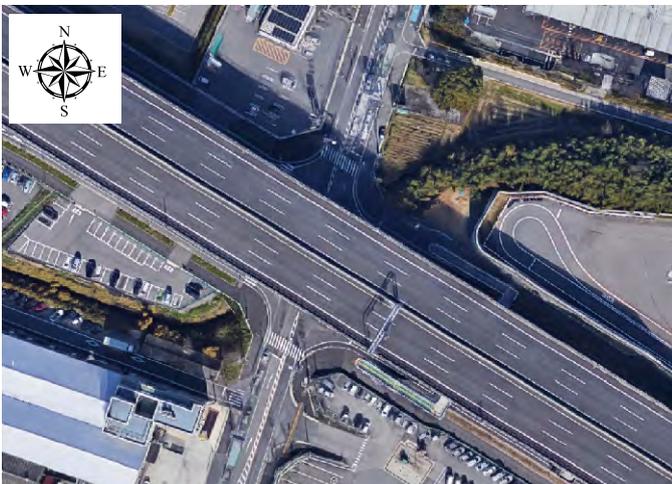
特徴

- 豊田インターの東側にあり、東西、南北ともに直進車線に加えて、右折車線・左折車線がある、複雑な交差点である。
- 右折時事故が 9 件で最も多い。

注意ポイント

- 右折時は対向車をよく確かめてから進みましょう。
- あわてず、余裕をもって走行しましょう。

⑨ 吉原町西藤池



©2019google,ZENRIN

特徴

- 伊勢湾岸自動車道の高架下にあり、東西、南北ともに右折車線のある交差点である。
- 右折時事故が 6 件で最も多い。

注意ポイント

- 右折時は対向車をよく確かめてから進みましょう。
- あわてず、余裕をもって走行しましょう。

⑩ 若林東町棚田



©2019google,ZENRIN

特徴

- 東西（平針街道）、南北ともに右折車線のある交差点である。
- 追突事故が5件で最も多い。

注意ポイント

- 進路前方の安全をよく確かめましょう。
- 急停止にならないように、適正な車間距離を保ちましょう。

⑪ 上丘町廻間



©2019google,ZENRIN

特徴

- 国道 155 号豊田南バイパスの高架下であり、東西、南北ともに右折車線のある交差点である。
- 右折時事故が6件で最も多い。

注意ポイント

- 右折時は対向車をよく確かめてから進みましょう。

⑫ 浄水町伊保原北



©2019google,ZENRIN

特徴

- 交差点をはさんで東西は東側の2車線から西側の1車線に切り替わり、南北は2車線（右折車線あり）の交差点である。
- 交差点付近に商業施設が多数あり、交差点の近くで車の出入りが多くある。
- 右折時事故が6件で最も多い。

注意ポイント

- 右折時は対向車をよく確かめてから進みましょう。

⑬ 生駒町東山



©2019google,ZENRIN

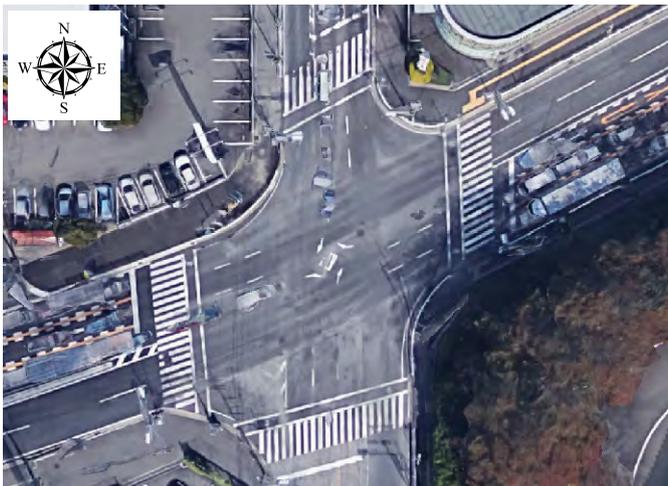
特徴

- 伊勢湾岸自動車道および衣浦豊田道路の高架下にあり、東西、南北ともに片側2車線（右折車線あり）の大きな交差点である。
- 追突事故が5件で最も多い。

注意ポイント

- 進路前方の安全をよく確かめましょう。
- 急停止にならないように、適正な車間距離を保ちましょう。

⑭ 東新町2丁目



©2019google,ZENRIN

特徴

- 東西（国道153号）は片側2車線（右折車線あり）、南北は片側1車線（但し、南側の北進方向のみ2車線）の大きな交差点である。
- 追突事故が5件で最も多い。

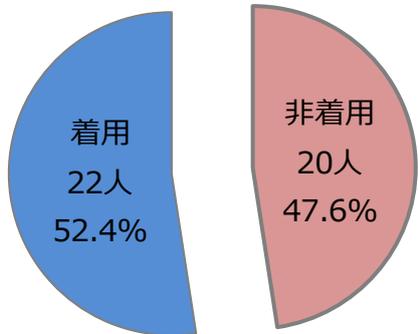
注意ポイント

- 進路前方の安全をよく確かめましょう。
- 急停止にならないように、適正な車間距離を保ちましょう。

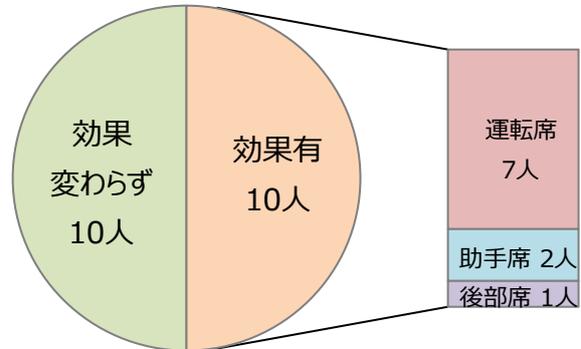


死亡事故軽減に向けて（愛知県警察データより）

シートベルト着用状況（平成 30 年）



非着用者がシートベルトを着用した場合（平成 30 年）

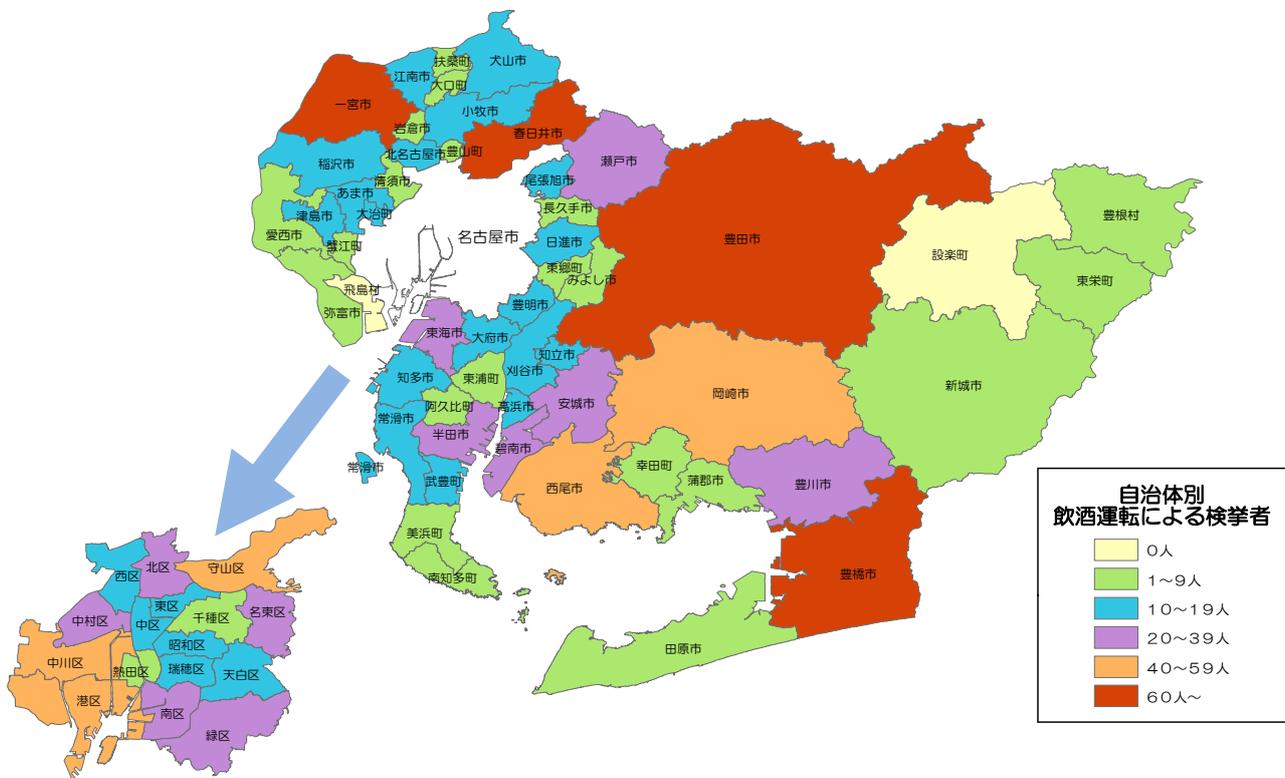


※四輪車乗車中の死者のうち、42 人中 20 人が非着用。※効果有は着用していれば助かったと思われる人。

- 平成 20 年 6 月に道路交通法が改正され、後部座席もシートベルトの着用が義務化されました。
- シートベルトを着用のうえ、エアバック（装備車）が作動すれば、万が一、交通事故に遭った場合でも衝突時の衝撃が大幅に軽減されます。

平成 30 年の飲酒運転による検挙者の実態

※飲酒運転で検挙された者及び飲酒運転による人身事故の原付以上の第一当事者の居住地を示す。



豊田市では平成 30 年中 62 人が検挙され、愛知県内ワースト 4 位である。（名古屋市を除く）

※愛知県警察の「飲酒運転の根絶」に基づく。

(11) 交通事故死者数ワースト記録の推移

※名古屋市を除く。

年 ワースト 順位	平成26年		平成27年		平成28年		平成29年		平成30年	
	市	死者数	市	死者数	市	死者数	市	死者数	市	死者数
1	豊橋市	19	一宮市	14	豊田市	18	豊田市	13	豊橋市	12
2	岡崎市	12	豊田市	13	豊橋市	15	一宮市	12	岡崎市	11
3	豊田市 西尾市	10	稲沢市 春日井市 岡崎市 豊川市	9	一宮市 岡崎市	10	岡崎市	11	豊田市 春日井市	9
4							豊橋市	9		
5	一宮市	8			西尾市	8	半田市	8	一宮市	7

平成30年の豊田市の交通事故死者数は、愛知県内で名古屋市を除いて「ワースト3位」である。

(12) 交通関係指標の推移

指標	年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
交通事故死者数		10	13	18	13	9
車両保有台数 (平成30年3月末時点)		339,943	341,655	343,811	346,398	348,567
免許保有者数 (平成30年12月28日時点)		302,557	303,168	304,331	305,407	306,463
免許自主返納者数		402	516	773	1,013	1,039
人口 (平成31年1月1日時点)		419,128	419,952	423,885	424,990	425,475

車両保有台数、免許保有者数は徐々に多くなっており、免許自主返納者数は4年で2倍以上になった。

3 愛知県内各市の交通事故発生状況

	平成30年					平成29年				
	発生件数 (件)	死者 (人)	負傷者(人)	人口1万 人当りの 死者数(人)	発生 件数 順位	発生件数 (件)	死者 (人)	負傷者(人)	人口1万 人当りの 死者数 (人)	発生 件数 順位
全 国	430,345	3,532	524,695	0.28		472,069	3,694	579,746	0.29	
愛 知 県	35,258	189	42,548	0.25		39,115	200	47,832	0.27	
名古屋市	10,868	55	13,027	0.24		12,121	39	14,736	0.17	
豊 橋 市	2,171	12	2,642	0.32	1	2,480	9	2,997	0.24	1
一 宮 市	2,145	7	2,510	0.18	2	2,227	12	2,679	0.32	2
岡 崎 市	1,696	11	1,917	0.28	3	2,102	11	2,378	0.29	3
春日井市	1,607	9	1,961	0.29	4	1,859	4	2,273	0.13	5
豊 田 市	1,565	9	1,785	0.21	5	1,866	13	2,206	0.31	4
豊 川 市	1,035	5	1,226	0.27	6	1,164	6	1,400	0.33	6
刈 谷 市	854	0	1,011	0.00	7	851	4	1,043	0.26	8
安 城 市	841	4	996	0.21	8	937	7	1,135	0.37	7
小 牧 市	758	3	904	0.20	9	755	3	910	0.20	9
西 尾 市	702	4	867	0.24	10	709	2	860	0.12	10
半 田 市	558	4	676	0.34	11	596	8	717	0.68	11
瀬 戸 市	535	2	629	0.16	12	498	6	600	0.47	12
稲 沢 市	452	4	514	0.29	13	448	3	542	0.22	15
東 海 市	442	1	520	0.09	14	488	1	599	0.09	14
江 南 市	422	2	492	0.20	15	491	1	579	0.10	13
日 進 市	410	1	507	0.11	16	409	2	503	0.22	19
大 府 市	395	1	467	0.11	17	403	1	473	0.11	20
あ ま 市	393	1	476	0.11	18	418	4	518	0.46	17
北名古屋市	357	2	434	0.23	19	411	4	494	0.47	18
蒲 郡 市	344	2	428	0.25	20	424	3	555	0.37	16
尾張旭市	342	1	415	0.12	21	369	2	443	0.24	21
清 須 市	337	3	439	0.43	22	331	2	404	0.29	26
知 立 市	319	2	393	0.28	23	334	2	421	0.28	25
豊 明 市	317	2	384	0.29	24	341	3	404	0.43	24
長 久 手 市	296	0	356	0.00	25	344	1	435	0.17	23
津 島 市	273	3	351	0.48	26	356	3	464	0.48	22
犬 山 市	267	2	337	0.27	27	283	3	339	0.41	29
碧 南 市	241	2	287	0.27	28	296	5	349	0.69	28
みよし市	236	2	278	0.32	29	277	0	331	0.00	30
常 滑 市	221	3	299	0.52	30	299	2	387	0.35	27
弥 富 市	215	0	272	0.00	31	253	2	315	0.46	31
知 多 市	205	0	254	0.00	32	219	2	254	0.24	33
愛 西 市	201	1	242	0.16	33	241	3	324	0.48	32
田 原 市	195	5	242	0.82	34	200	2	257	0.33	35
高 浜 市	175	0	219	0.00	35	216	2	271	0.42	34
岩 倉 市	171	1	202	0.21	36	194	2	238	0.42	36
新 城 市	154	3	179	0.66	37	135	3	172	0.66	37

※全国データ出典：「平成30年中の交通事故の発生状況」（総務省統計局）

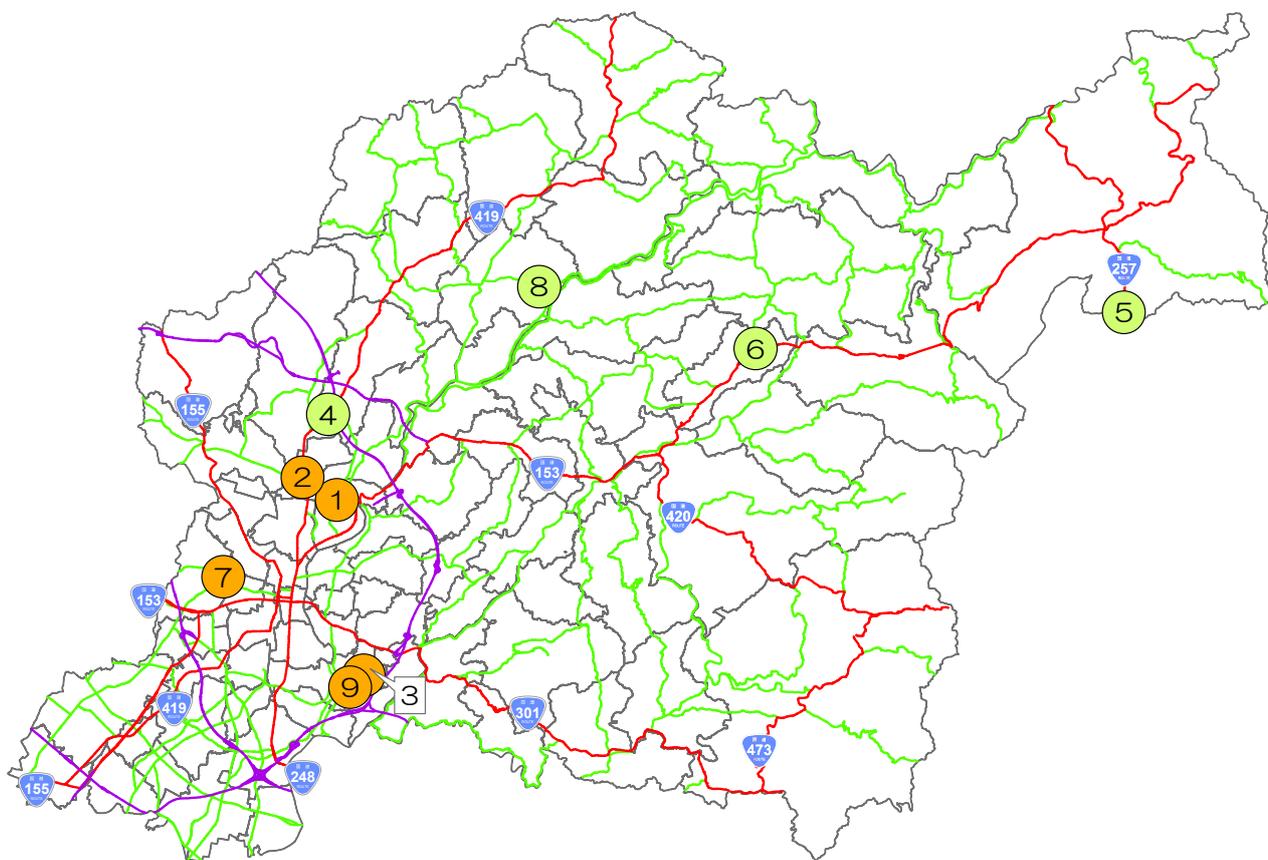
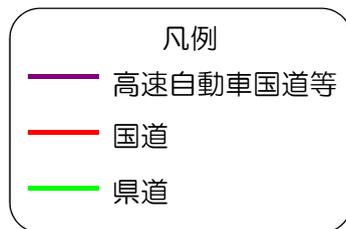
※愛知県下各市データ出典：「愛知県の交通事故発生状況」平成30年中（愛知県警察本部）

※発生件数順位は、名古屋市を除く愛知県内の各市を対象としている。

豊田市の交通事故発生件数は、愛知県内で名古屋市を除いて「ワースト5位」である。

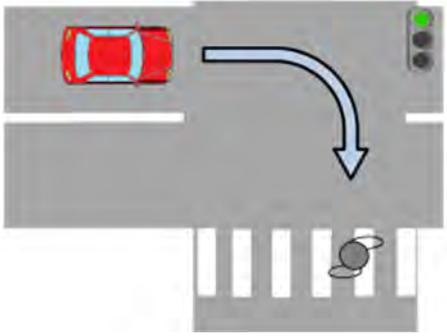
4 豊田市の平成30年の死亡事故

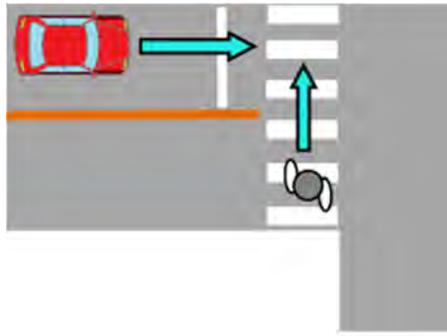
(1) 死亡事故位置図



● は死者が65歳未満、● は死者が65歳以上の死亡事故。数字は(2)死亡事故一覧表に対応。

(2) 死亡事故一覧表（9件、9人）

1	日時		1月27日（土）	
			午後5時05分頃	
	場所		青木町	
	事故類型		人対車両	
	当事者	死者	歩行者：60歳代（男性）	
相手		普通乗用：20歳代（男性）		
<p>※ドライバーは、右左折する先に歩行者がいないか、よく確認しましょう。 ※歩行者は、信号が青でも車が来ないか、よく確認しましょう。</p>				

2	日時		2月5日（月）	
			午後9時05分頃	
	場所		四郷町	
	事故類型		人対車両	
	当事者	死者	歩行者：80歳代（男性）	
相手		軽四乗用：30歳代（男性）		
<p>※ドライバーは、横断歩道を通過するときは横断者がいないか、よく確認しましょう。 ※歩行者は、夜間は反射材を身に着け、横断時は特に左側からくる車に注意しましょう。</p>				

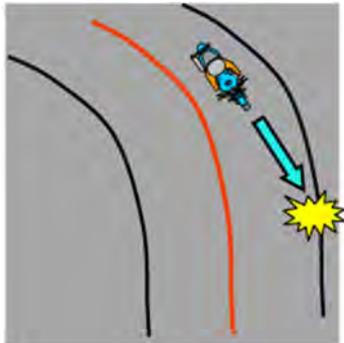
3	日時		2月27日（火）	
			午後6時30分頃	
	場所		大見町	
	事故類型		自動車相互	
	当事者	死者	軽四乗用：70歳代（男性）	
相手		軽四乗用：30歳代（女性）		
<p>※運転中は、運転に集中し、進路前方の安全をよく確かめましょう。 ※体調が悪いときは、運転を控えましょう。</p>				

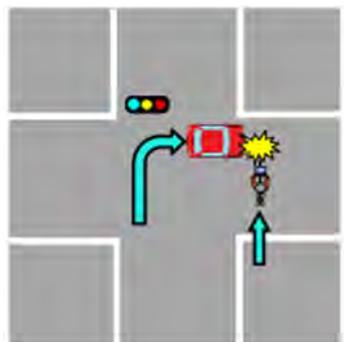
4	日時		3月21日 (水)	
			午後11時24分頃	
	場所		西中山町	
	事故類型		人対車両	
	当事者	死者	歩行者：50歳代（男性）	
相手		普通乗用ほか複数台		
<p>※降雨中の夜間は視界が悪くなるため、普段より速度を落として走行しましょう。</p>				

5	日時		4月21日 (土)	
			午前10時24分頃	
	場所		中当町	
	事故類型		二輪車対車両	
	当事者	死者	大型自動二輪：20歳代（男性）	
相手		軽四乗用：80歳代（男性）		
<p>※カーブ手前では、速度を十分に落としましょう。</p>				

6	日時		8月13日 (月)	
			午前9時25分頃	
	場所		大井町	
	事故類型		二輪車対車両	
	当事者	死者	大型自動二輪：50歳代（男性）	
相手		軽四乗用：50歳代（男性）		
<p>※無理な追い越し・追い抜きは絶対にやめましょう。</p>				

7	日時		8月19日 (日)	
			午後10時00分頃	
	場所		宮上町	
	事故類型		人対車両	
	当事者	死者	人：80歳代（男性）	
相手		普通乗用：30歳代（男性）		
<p>※駐車場では、歩行者や自転車に十分に注意し、徐行しましょう。</p>				

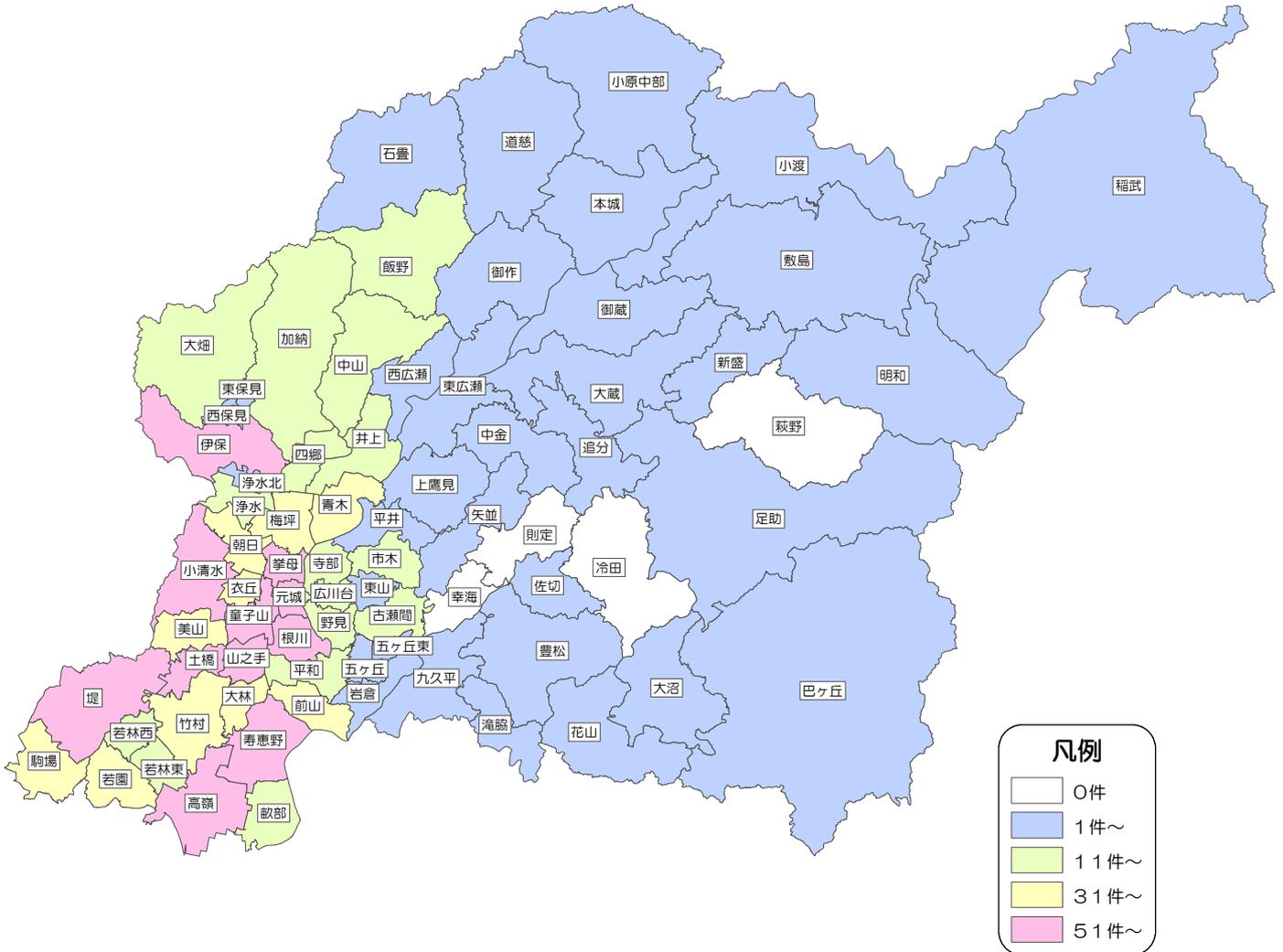
8	日時		10月8日 (月・祝)	
			午後0時10分頃	
	場所		上川口町	
	事故類型		車両単独（二輪車）	
	当事者	死者	普通自動二輪：20歳代（男性）	
相手		ガードレール		
<p>※カーブ手前では、速度を十分に落としましょう。</p>				

9	日時		10月13日 (土)	
			午後2時40分頃	
	場所		大見町	
	事故類型		自転車対車両	
	当事者	死者	自転車：80歳代（女性）	
相手		軽四乗用：60歳代（女性）		
<p>※ドライバーは、右左折する先に歩行者・自転車がいないか、よく確認しましょう。 ※横断するときは、信号が青でも車が来ないか、よく確認しましょう。</p>				

5 豊田市の小学校区別交通事故

(1) 発生状況分布図

平成 30 年事故
1,565 件



交通量が多い南部・西部に事故が集中している。

(2) 発生状況一覧表

発生件数は「小清水小学校区」が最も多い。

	平成30年				平成29年			
	発生件数	死者数	重傷者数	軽傷者数	発生件数	死者数	重傷者数	軽傷者数
童子山	52	0	1	62	59	0	3	75
拳母	51	0	0	59	72	0	2	83
根川	54	0	2	53	73	1	1	84
小清水	84	1	3	92	86	1	0	97
前山	33	0	2	37	23	0	0	28
山之手	59	0	0	66	69	0	3	75
美山	38	0	2	42	51	0	0	57
寺部	21	0	0	23	32	0	2	33
平井	4	0	0	4	7	0	1	8
野見	22	0	0	25	26	0	1	30
古瀬間	11	0	2	9	20	0	1	19
矢並	2	0	0	2	1	0	0	1
高嶺	73	0	2	78	71	1	3	74
寿恵野	70	0	1	80	57	0	0	73
畝部	29	0	0	33	28	0	2	31
堤	76	0	0	84	88	1	3	110
若園	46	0	2	47	56	0	0	66
竹村	46	0	1	51	69	0	3	80
駒場	37	0	3	44	51	1	0	56
大林	44	0	0	48	55	0	0	66
大畑	17	0	0	21	22	0	0	26
伊保	52	0	2	60	55	1	2	62
加納	24	0	0	29	29	0	0	42
青木	34	1	0	36	31	0	1	34
西広瀬	3	0	0	3	6	0	0	6
東広瀬	8	0	0	11	5	0	0	5
中金	7	0	0	7	5	0	0	6
上鷹見	1	0	0	1	2	0	0	2
幸海	0	0	0	0	2	0	0	2
岩倉	2	0	1	1	8	0	0	8
九久平	8	0	0	10	14	2	1	14
滝脇	3	0	0	3	2	0	0	2
豊松	1	0	0	1	2	0	0	2
東山	7	0	0	10	13	1	0	14
元城	54	0	3	63	67	0	2	85
梅坪	43	0	2	48	59	0	0	65
朝日	35	0	0	38	38	0	0	42
若林東	29	0	1	31	36	0	1	43
東保見	2	0	0	2	1	0	0	1
四郷	29	1	2	30	36	1	1	36
浄水	26	0	1	26	37	0	0	49
平和	29	0	0	33	32	0	1	33

(続き)

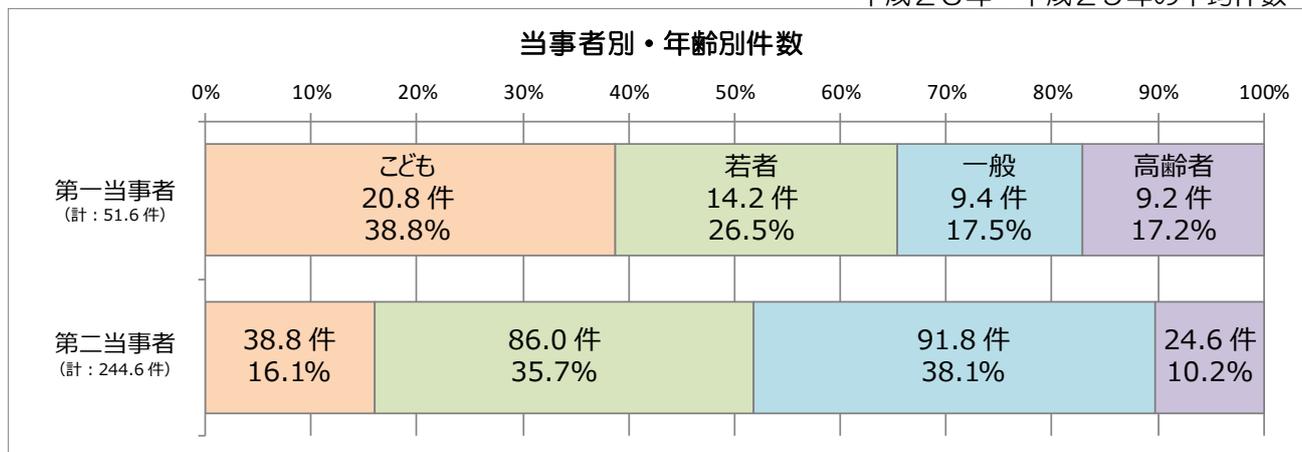
	平成30年				平成29年			
	発生件数	死者数	重傷者数	軽傷者数	発生件数	死者数	重傷者数	軽傷者数
市木	17	0	1	17	16	0	0	18
若林西	24	0	2	25	45	0	3	49
衣丘	44	0	0	56	50	0	4	62
土橋	61	0	1	70	50	0	2	54
広川台	26	0	2	28	31	1	1	35
井上	11	0	1	13	23	0	2	22
五ヶ丘	10	2	1	8	8	0	0	9
西保見	2	0	0	2	1	0	0	1
五ヶ丘東	1	0	0	1	2	0	0	4
飯野	11	0	0	14	24	0	0	29
石畳	6	0	1	5	5	0	0	7
御作	4	1	0	5	3	1	0	3
中山	18	1	0	18	22	0	1	26
道慈	2	0	0	2	3	1	1	2
本城	2	0	1	4	1	0	0	1
小原中部	2	0	1	3	2	0	0	2
足助	6	0	1	5	12	0	1	15
冷田	0	0	0	0	0	0	0	0
追分	8	0	0	9	5	0	1	5
佐切	1	0	1	0	0	0	0	0
則定	0	0	0	0	6	0	1	7
萩野	0	0	0	0	0	0	0	0
明和	3	0	1	9	3	0	0	5
新盛	5	1	0	5	5	0	1	6
大蔵	1	0	0	1	2	0	1	1
御蔵	3	0	0	3	0	0	0	0
花山	2	0	0	2	3	0	1	2
大沼	2	0	0	2	2	0	0	2
巴ヶ丘	3	0	2	1	3	0	0	4
小渡	5	0	1	4	3	0	0	4
敷島	2	0	0	3	1	0	0	1
稲武	10	1	3	7	21	0	5	24
浄水北	7	0	0	7	18	0	0	22
計	1,565	9	53	1,732	1,866	13	59	2,147

※発生件数はワースト5位以内に着色、死者数は2人以上に着色。

6 豊田市の自転車交通事故

(1) 年齢別発生状況

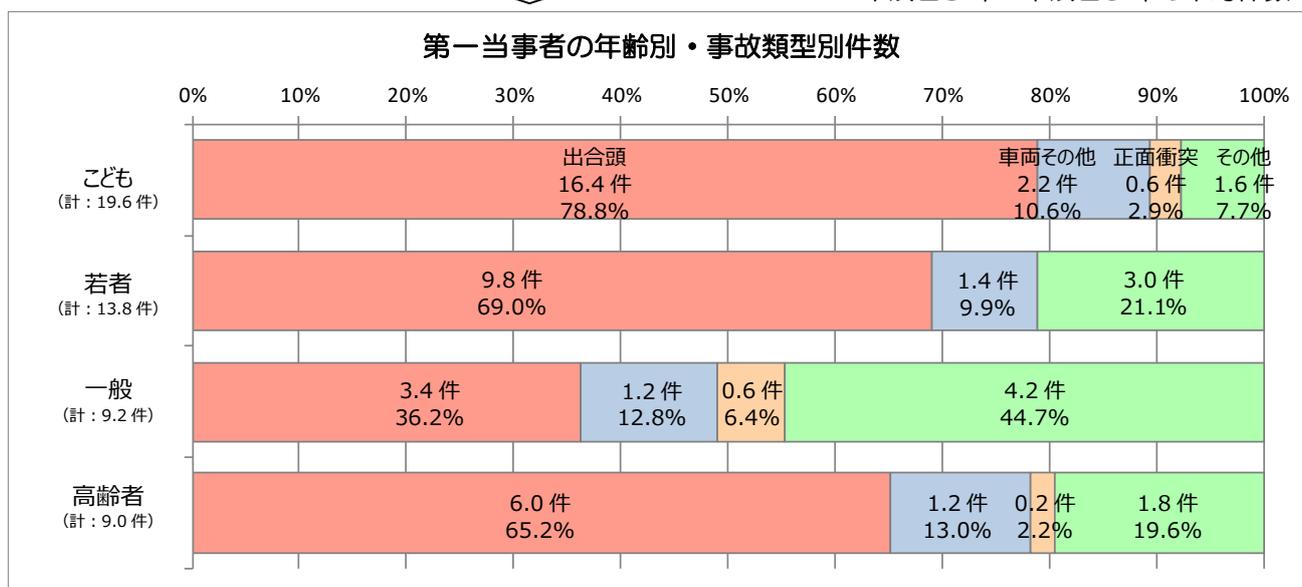
平成25年～平成29年の平均件数



自転車事故の第一当事者は子どもの割合が最も高く、第二当事者は若者、一般の割合が高い。

第一当事者について
詳しく見てみると・・・

平成25年～平成29年の平均件数



自転車が第一当事者となる事故件数は出合頭が多くを占める。特に、子どもは顕著である。

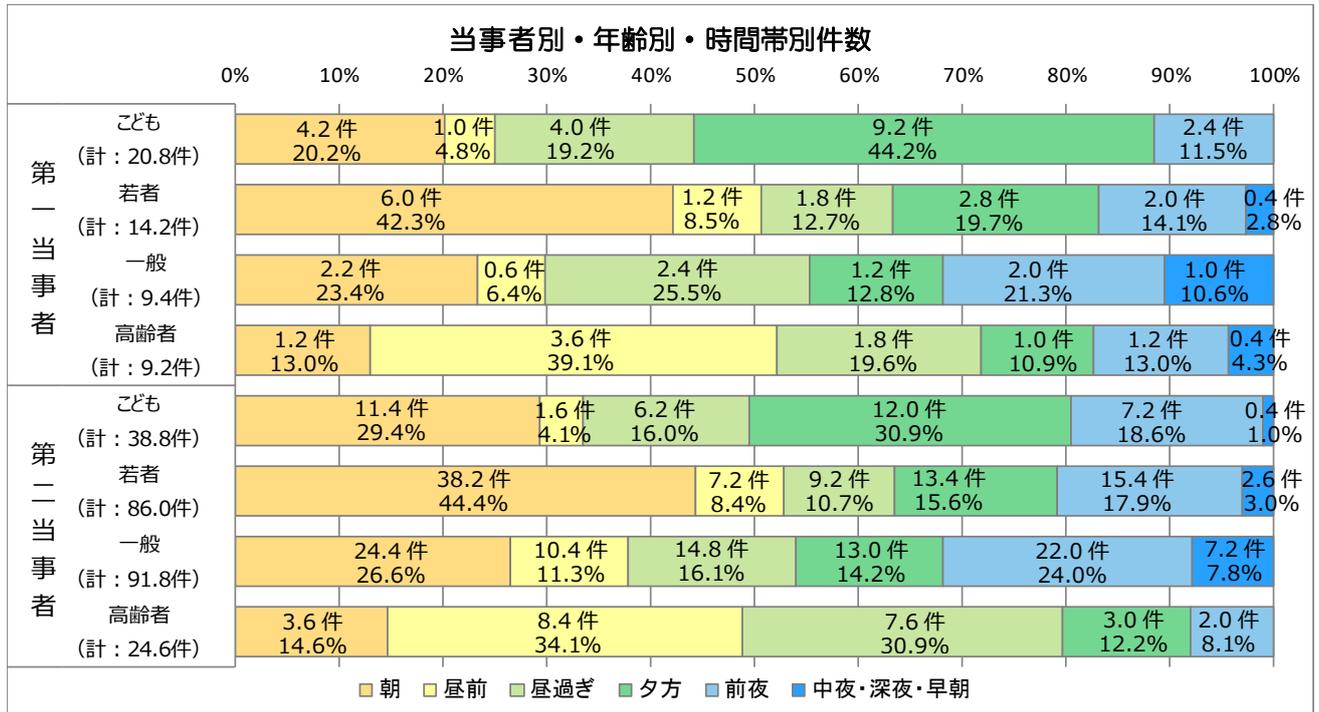
保護者の方へ

お子さんが自転車に乗り始めたら、一時停止の標識のあるところや道路に出るときは、必ず止まって安全確認をするように教えましょう。

※子どもは0～15歳、若者は16～24歳、一般は25～64歳、高齢者は65歳以上を示す。

(2) 時間帯別発生状況

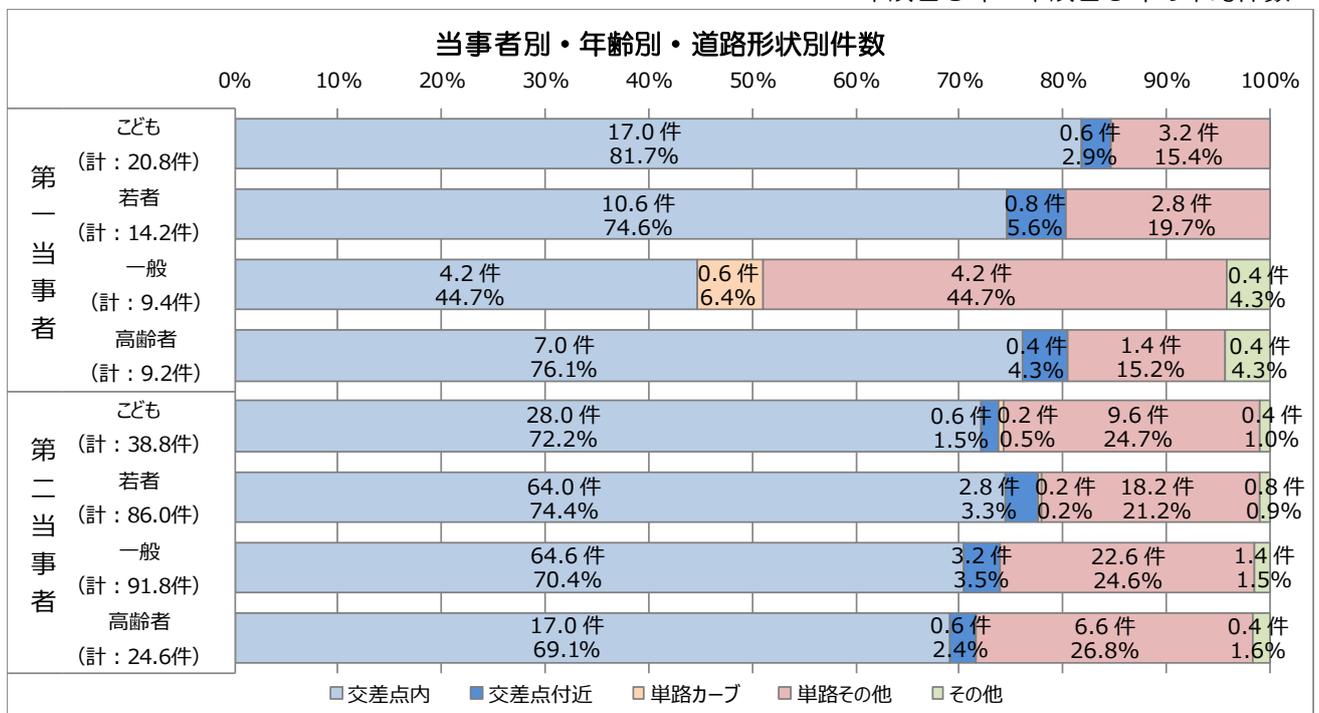
平成25年～平成29年の平均件数



自転車事故は子どもでは第一当事者の夕方の割合が高く、若者では第一当事者・第二当事者ともに朝の割合が高く、高齢者は第一当事者・第二当事者ともに昼前の割合が高い。

(3) 道路形状別発生状況

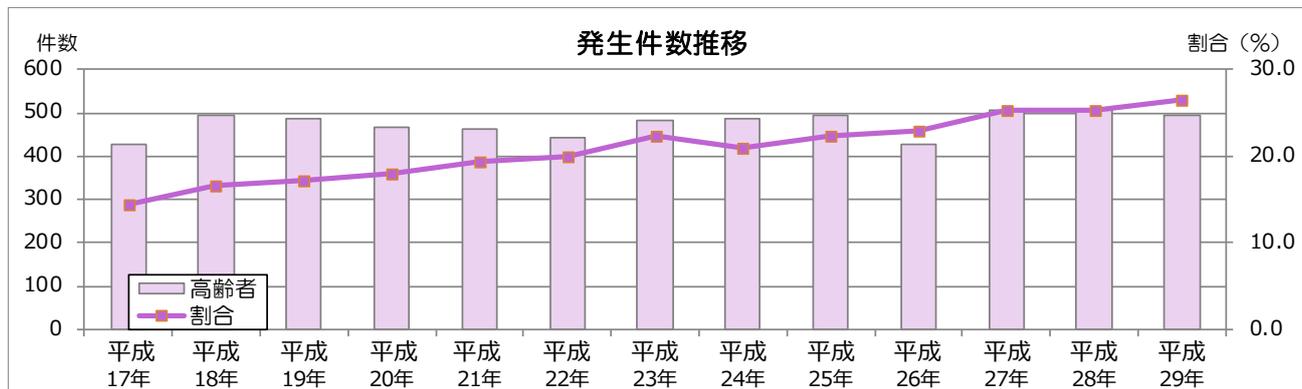
平成25年～平成29年の平均件数



自転車事故は交差点内が最も多い。また、第一当事者の一般はカーブや単路の割合が高く、第二当事者の高齢者は単路の割合が高い傾向がある。

7 豊田市の高齢者（65歳以上）の交通事故

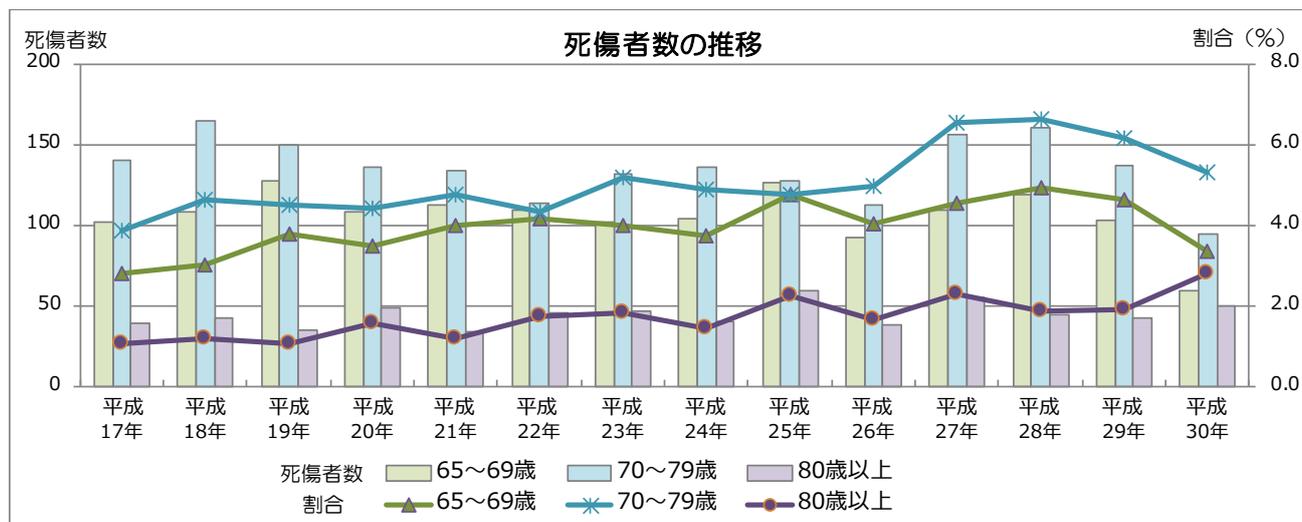
(1) 発生状況の推移



区分	年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
発生件数	発生件数	2,956	2,977	2,832	2,603	2,385	2,205	2,156	2,311	2,202	1,857	2,000	2,006	1,866
	高齢者	426	494	485	467	463	442	481	485	494	428	507	507	496
	割合	14.4	16.6	17.1	17.9	19.4	20.0	22.3	21.0	22.4	23.0	25.4	25.3	26.6

※割合とは各年の全発生件数に占める高齢者事故の割合。

平成17年から平成29年までの13年間で全体の事故件数は37%減少したが、高齢者の事故件数は16%増加している。



区分	年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
死傷者数	死傷者数	3,629	3,575	3,343	3,085	2,826	2,629	2,544	2,779	2,659	2,275	2,392	2,420	2,219	1,794
	65～69歳	102	108	127	108	113	109	102	104	126	92	109	119	103	60
	70～79歳	140	165	150	136	134	114	132	136	127	113	156	160	137	95
割合	65～69歳	2.8	3.0	3.8	3.5	4.0	4.1	4.0	3.7	4.7	4.0	4.6	4.9	4.6	3.3
	70～79歳	3.9	4.6	4.5	4.4	4.7	4.3	5.2	4.9	4.8	5.0	6.5	6.6	6.2	5.3
	80歳以上	1.1	1.2	1.0	1.6	1.2	1.7	1.8	1.4	2.3	1.7	2.3	1.9	1.9	2.8

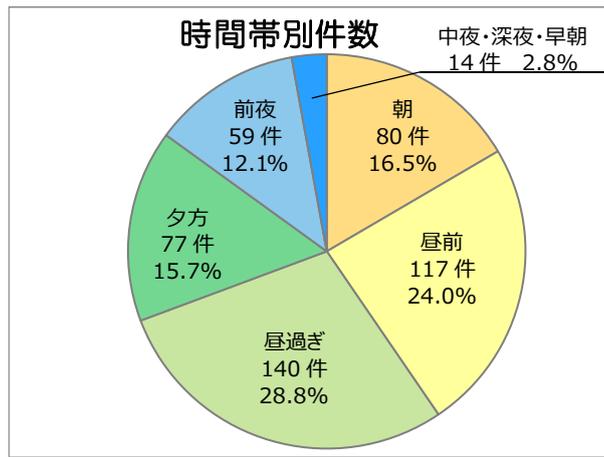
※割合とは各年の全発生件数に占める高齢者事故の割合。

※平成17～23年は平成24年に行われた事故件数見直し前の値であるが、僅かであり全体の傾向に影響はない。

平成17年から平成30年までの14年間で全体の交通事故死傷者数は50%減少し、高齢者の交通事故死傷者数も27%減少しているが、相対的に高齢者の割合が増加している。

(2) 時間帯別発生状況

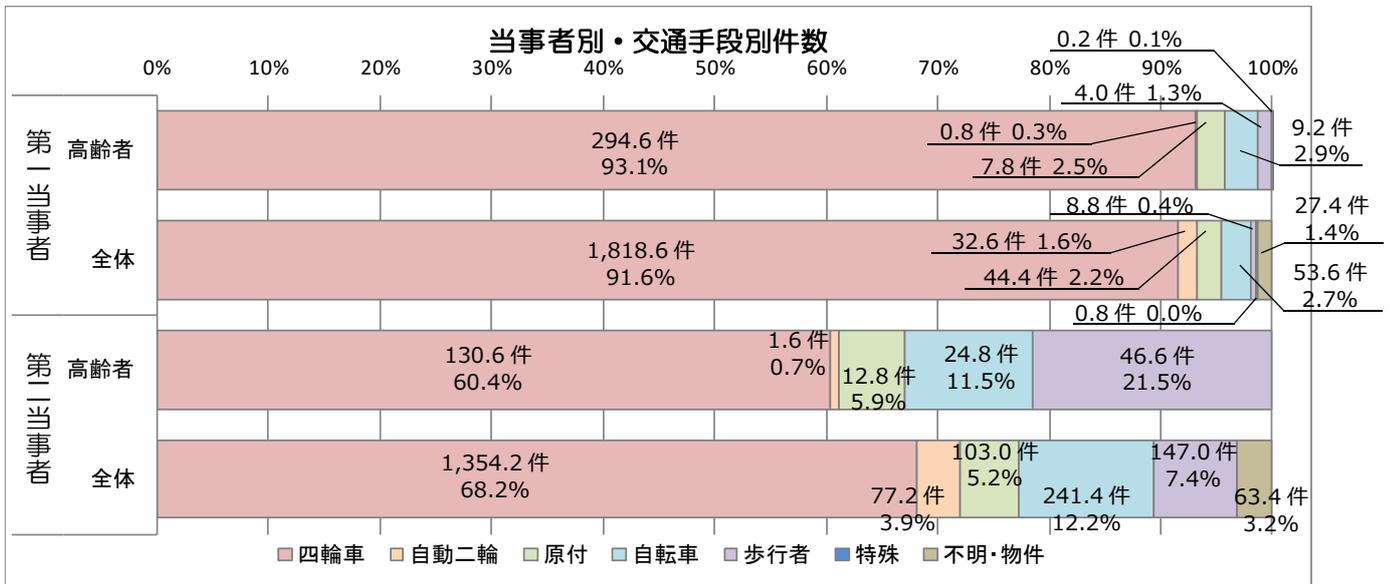
平成25年～平成29年の平均件数



高齢者の事故は昼前、昼過ぎに多い。

(3) 交通手段別発生状況

平成25年～平成29年の平均件数



高齢者の事故は第一当事者、第二当事者ともに四輪車が最も多い。全体と比べると高齢者は第二当事者で歩行者の割合が高い。

高齢者の方へ
 青信号、横断歩道でも渡り終わるまで左右の安全確認、車が来ないことを確認してから渡りましょう。
 交通量が少ない道路であっても、横断歩道があればそこまで移動して、周りの状況をよく確認してから渡りましょう。

※第一当事者は不明（ひき逃げ）を除き、第二当事者は物件等・相手なし（単独事故）を除く。
 ※高齢者とは65歳以上で、全体とは全ての年齢を含む。

高齢者の交通事故防止に向けて

① 夜間の事故防止に努めましょう

【夜間の事故の特徴】

- 歩行者にとって、左側から来る車は渡り始めは遠くても、渡り終える前にすぐ近くまで進行して来るので、横断できると思い、横断途中で事故に遭うケースが多い。
- 運転者にとって、車の前照灯は左側のライトに比べ、右側のライトは少し手前を照らすので右側からの歩行者に気づきにくい。

歩行者は明るい服装や反射材を着用し、道路を横断する際は自分の姿が見えやすい明るい場所で、車の流れが完全に途切れてから渡りましょう。

運転者は前照灯のハイビーム（約 100m 照らす）を活用し、進路前方の安全を確かめ、慎重な運転に努めましょう。

ロービームは約 40m 先までしか照らさないので歩行者に気づくのが遅れます。



② 交通ルールを守った安全な横断をしましょう

【横断歩道を渡りましょう】

- 30m 以内に横断歩道がある場合は、その場所まで移動して横断しなくてはなりません。
- 道路を斜めに横断してはいけません（スクランブル交差点等を除く）。
- 「歩行者横断禁止」の標識のある場所では、横断してはいけません。
- 車両等の直前または直後を横断してはいけません。

渡り始める時に車が見えていなくても、事故に遭う場合がありますので、遠回りになっても安全を優先させましょう。

また、斜め横断は車道にいる時間が長くなり、事故の危険が増えるのでやめましょう。



③ 健康保持に努めましょう

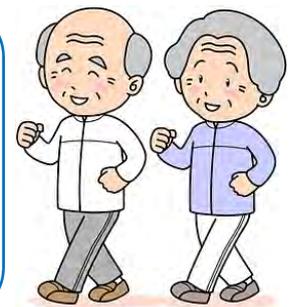
【こんなことはありませんか？】

- 体が思うように動かない。
- 文字が見えにくく感じる。
- 言おうとしたことを忘れてしまう。

誰でも年齢を重ねると、身体機能の変化を感じることもあると思います。身体機能の維持は安全運転に繋がります。自分にあった「できる運動」を負担にならない程度に継続して行い、健康保持に努めましょう。

☆体調がすぐれない時は運転を控えましょう。

☆運転に不安を感じたら、運転免許証の自主返納も検討しましょう。



自転車も交通ルールを守ろう！

自転車安全利用五則

- 1 自転車は、車道が原則、歩道は例外
- 2 車道は左側を通行
- 3 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
- 4 安全ルールを守る
 - 飲酒運転・二人乗り・並進の禁止
 - 夜間はライトを点灯
 - 交差点での信号遵守と一時停止・安全確認
- 5 子どもはヘルメットを着用

携帯電話やスマートフォンを使用しながらの運転、傘さし運転も違反です！



自転車保険に加入しましょう！

高額賠償事例①

坂道を自転車で下って来た男子小学生が、歩行中の女性と正面衝突。被害者は意識不明になった。

約 9,500 万円

(平成 25 年 神戸地裁)

高額賠償事例②

男子高校生が車道を斜めに横断し、対向車線で自転車に乗っていた男性と衝突。被害者は後遺症が残った。

約 9,300 万円

(平成 20 年 東京地裁)

自転車保険の種類

- 自転車事故による損害賠償責任は「個人賠償責任保険」で補償されます。
- T S マーク付帯保険は、自転車安全整備店で購入、点検、整備した自転車に貼られる T S マークに付帯した保険です。

自転車保険の種類		保険の概要
個人賠償責任保険	自転車向け保険	自転車事故に備えた保険
	自動車保険の特約	自動車保険の特約で付帯した保険
	火災保険の特約	火災保険の特約で付帯した保険
	傷害保険の特約	傷害保険の特約で付帯した保険
共済		全労済、市民共済など
団体保険	会社等の団体保険	団体の構成員向けの保険
	P T A の保険	P T A や学校が窓口となる保険
T S マーク付帯保険		自転車の車体に付帯した保険
クレジットカードの付帯保険		カード会員向けに付帯した保険

保険加入は大切です！



～交通事故死“全国ワースト1位”返上を豊田市から～

歩行者保護モデルカー活動 を推進しています！

「歩行者保護モデルカー活動」とは、活動を委嘱された事業所の車両にステッカーを貼り、以下の3項目を実践した運転を行い、安全運転のけん引役を担うことで交通事故抑止を目指しています。また、市民向けのステッカーを広く配布し、市内全域で活動の拡大を図っています。



速度遵守・・・制限速度を必ず守る

ハイビームの活用・・・ライト点灯時はハイビームを活用する

歩行者優先・・・横断歩道で歩行者を見たら必ず止まる



委嘱事業所ステッカーデザイン



市民向けステッカーデザイン

★歩行者保護モデルカー活動委嘱事業所

(株)ユーネットランス	名古屋東部陸運(株)	朝日ヶ丘運輸(株)
愛知陸運(株)豊田支店	(株)ケー・ツー	(株)寿陸運
トヨタ紡織(株)	T B 物流サービス(株)	三栄工業(株) 輸送事業部
豊栄交通(株)	名鉄東部交通(株)	(株)西三交通 タクシー事業部
佐川急便(株) 東海支店	ヤマト運輸(株)	豊田自動車学校
(株)トヨタ中央自動車学校	名鉄バス 豊田営業所	トヨタ自動車(株)
(株)トヨタエンタプライズ	豊田共栄サービス(株)	トヨタ生活協同組合
豊田交通教育(株) (交通安全学習センター)	(株)クリエイト	(株)オーフ
総和運輸(株)	大興運輸(株)	社会福祉法人 東加茂福祉会
イマノ産業(株) TC交通	中部電力(株) 豊田営業所	中電配電サポート(株) 豊田営業所
(株)トフス	ホームックス(株)	ひまわりネットワーク(株)
愛知中央ヤクルト販売(株)	豊田信用金庫	生活クラブ生活協同組合 (愛知)
(株)ガード・リサーチ 三河事業本部豊田支社	(株)キョウエイファイン	林テレンプ(株)
大豊精機(株)	碧南運送(株)	アイシン高丘(株)
小島プレス工業(株)	(株)デンソーテン	エイセブ交通(株)
(株)善都	(株)レオパレス 21	(株)セブンーイレブン・ジャパン
寿技研工業(株)	(株)小松	平成 31 年 2 月 6 日現在 50 事業所



横断者を見たら STOP! 「とまってくれてありがとう」

横断歩道で横断しようとしている歩行者を見かけたら、手前で一時停止し、歩行者の通行を優先させるのがルールです。

豊田市では、横断歩道における歩行者優先をドライバーに呼びかけるだけでなく、「とまってくれてありがとう」と感謝の気持ちを伝える取り組みを進めています。

皆さんも、止まってくれたドライバーに伝えてみませんか? 「ありがとう」と



交通事故からみんなを守る「シグナルンジャー」



市内の交通事故撲滅のために誕生した、豊田市交通安全学習センターの公式キャラクター「シグナルンジャー」。信号機の色を表すブル

ー、イエロー、レッドのヒーローと、交通ルールを守らない悪役のブラックが、センターのイベントを通じて、正しい交通ルールを教

えています。豊田市の交通安全を見守るヒーロー達の活躍に、これからも目が離せない!!

「飲酒運転をしない、させない」を豊田市から

忘年会や新年会、歓送迎会、お祝い会など飲酒の機会では、どうしても気持ちは緩みがち。それでも絶対にしてはいけないのが飲酒運転。

「少しだけなら」「自分だけは大丈夫」。そんな甘い気持ちだが、一生取り返しのつかないことになりかねません。クルマで飲食店に行く

ときは、お酒を飲まないドライバー（ハンドルキーパー）を決めておきましょう。もちろん飲酒後の自転車運転も禁止です。



横断歩道は歩行者優先で



愛知県内では横断歩道横断中の事故が多く発生しています。

豊田市では、信号のない通学路横断歩道を中心に赤く

塗装を行うカラー舗装化を進めています。横断歩道があることを際立たせることにより、ドライバーに一層の注意を促すねらいがあり

ます。横断歩道を見たら、まずはスピードを緩める。そして横断者がいたら、必ず横断歩道の手前で止まりましょう。

みんなの交通安全の思いを作品に

豊田市交通安全市民会議では、交通安全ポスター、交通安全作文、交通安全標語を毎年募集しています。小学生を中心に、多数の応募があ

って、どの部門も力作が勢ぞろい。作品を見る人、読む人が交通安全の意識を高めるだけでなく、作者自身が改め

て交通安全について考える機会とすることをねらいとしています。



交通安全は家庭から 7歳を事故から守ろう



希望に胸が膨らむ春。特に新1年生にとっては、行動範囲もぐんと広がり、まるで世界が広がったようなわくわくする季節です。

でも、一方では交通事故の危険性と隣り合わせで、歩行中の死傷者数において、7歳が特に多いというデータもあります。

大切な小さな命が交通事故に遭わないように、毎年、新1年生には黄色い帽子を配布しています。



交通安全作文 (平成30年度 最優秀作品 豊田市長賞)

『私の交通安全への思いと願い』

私の曾祖父は大型トラックにはねられ、亡くなりました。即死でした。事故はもう何十年も前の、私の母が子どもの頃の出来事です。だから、私は曾祖父の顔を知りません。101歳まで生きた曾祖母からよくその事故の話聞いて育った私は、優しくとても子どもが大好きだったという曾祖父に会いたいという気持ちを、今でも募らせています。

連日のようにニュースや新聞で交通事故の報道がなされています。今日のような車社会と時間に追われるあわただしい毎日、おかしな言い方なのかもしれませんが、事故が起こらない方が珍しいのかもしれませんが。それくらい、車が生活に密着しており、その車と歩行者と自転車、バイクが共存していて、車のドライバーも歩行者や自転車の利用者にもなります。ドライバーは加害者にも被害者にもなりうるのです。前述した事故の日、私の母は曾祖父の、母から見れば祖父ですが、学校に連絡があり、病院に連れられ、息を引き取った祖父と対面したそうです。大型トラックにはねられた曾祖父の身体は至る所から出血していて、とてもひどい状況だったようです。突然のことに周りの大人たちは泣き崩れ、母はよく状況が飲み込めずにその場に立ち尽くしていたと聞きました。お葬式の日、刑事さんに連れられたトラックの運転手さんが来て、何度も頭を下げていた光景を鮮明に覚えていると言っていました。母はその出来事があって以来、車に乗せてもらうのが怖くなり、運転免許を取得できる年齢になっても、なかなか自動車学校に通う勇気が出なかったそうです。社会人になって数年がたった頃、仕事の都合でどうしても車に乗らないといけない状況が生じ、覚悟を決めて免許を取得したと聞きました。母は日常生活で車を運転していますが、決してスピードを出さず、当たり前のことですが一時停止のところは何度も何度も安全確認をしてアクセルを踏みます。「命を乗せて走っているから」母がハンドルを握っているとき、よく口にする言葉です。私はそんな母の運転に信頼を寄せて後部座席に座ります。しかし、いくら気をつけていても事故は起こることがあります。そういう確率を少しでも少なくするために母は通い慣れた道以外の行き先へ行くときや旅行の時は一切車に乗りません。必ずバスや電車で行きます。そのことで多少不便さを感じたり、お金がかかったとしても「命の値段」より高いものはないのだから。私はそんな母の考えは間違っていないと思います。公共交通機関を利用することで、環境にも良いし、渋滞緩和にも役立っていると考えからです。

私は高校には毎日バスに乗って通っています。私がお世話になっているバスの運転手さんは毎日安全運転で運行しており、私は無事に通学できていることに感謝しています。しかしながら、あおり運転、信号無視、スピード違反など数々の反則行為は一向になくなりません。違反運転をするドライバーはおそらく心のゆとりがないのでしょう。心のゆとりがなくなる原因に、いろんな事情があるのでしょうか、事故が起こってしまったらどんな事情も言い訳にはなりません。被害者となってしまった人はもちろんのこと、加害者となってしまった人にも人生があり、社会での役割があり、家族があるのです。被害者側は身体の傷、心の傷を負い、辛い思いをします。加害者側も償いの日々を送ることになります。そんな人が少しでも減らせるよう、心のゆとりを持たなくてはならないのです。

事故を起こさないようにするためには、家を出る時間を10分早くする、道路を渡るときにはドライバーと目を合わせるようにする、周りの状況を見るためスマホをしながら歩かないなど、当たり前でいて当たり前実践する。心のゆとりが持てる行いをするのが事故を減らす第一歩だと思いました。



交通安全標語



平成30年度 最優秀作品
豊田市交通安全市民会議会長賞

おたがいの やさしい気持ちで 事故ふせぐ

(平成30年度 優秀作品)

【歩行者の交通事故防止】

とび出さない いのちは一つだ 大切に
あぶないよ フザケあるきは じこのもと

【子どもと高齢者の交通事故防止】

おとうとの みほんになりたい こうつうマナー
ゆとりもて ぼくも車も 朝の道

【自転車の安全利用促進】

自転車も 加害者になること 意識して！！
ヘッドホン 危険サインも 塞いでる

【運転者の安全運転促進】

ゆずり合う 心のゆとりで ふせぐじこ
煽り運転 あなたの道では ありません

【全席シートベルト・チャイルドシート着用の徹底】

みみすませ 「カチャッ」のあいずで しゅっぱつしんこう！
カチッとね しめるベルトが ぼくももる

【交通安全全般】

ゆずり合い あなたの優しさ 見せる時

平成30年度 交通安全ポスター—最優秀作品



豊田市長賞



豊田市議会議長賞



足助警察署長賞



豊田警察署長賞



豊田市交通安全
市民会議会長賞



豊田市教育委員会賞

発行：豊田市交通安全市民会議

〒471-8501 豊田市西町3-60 南庁舎4F（豊田市交通安全防犯課内）

TEL：0565-34-6633（直通） FAX：0565-32-3794

ホームページ <https://signal.toyota.aichi.jp/> E-mail signal@city.toyota.aichi.jp

編集協力：（公財）豊田都市交通研究所

〒471-0024 豊田市元城町3-17 TEL：0565-31-7543 FAX：0565-31-9888

ホームページ <https://www.ttri.or.jp/> E-mail ttri_mail@ttri.or.jp